

CALLERLAB

ABBREVIATED DEFINITIONS for BASIC and MAINSTREAM SQUARE DANCING



ベーシック・メインストリーム 動作の定義 簡易版

2013年5月31日改訂



一般社団法人 日本スクエアダンス協会

Japan Square Dance Association

変更履歴

変更日	変更事項
2012年8月30日	草稿
2012年7月31日	表題の変更(“および講習の指針”という言葉を削除)
2012年12月6日	MS委員会承認

本書はコーラーラブの許諾を得て、一般社団法人日本スクエアダンス協会国際委員会委員尾崎隆敏氏に翻訳していただきました。訳文の内容については、日本スクエアダンス協会技術委員会が確認・承認しています。

2014年1月28日 翻訳初版発行

発行：一般社団法人日本スクエアダンス協会

© 2012コーラーラブ、スクエアダンスコーラー国際協会

再印刷、再発行、使用料の発生しない写物製作はこの文章表示を条件にこれを許可する。使用料の発生しないインターネットでの刊行はこの文章表示を条件にこれを許可する。使用料の発生しない一部または全ての引用はこの文章表示を条件にこれを許可する。いかなる写物製作または刊行においても本書内の資料は変更されまた改訂されてはならない。

目次

序文.....	- 1-	Next Couple Go Left/Right.....	- 16-	See Saw.....	- 31-
はじめに.....	- 1-	Flutterwheel / Reverse Flutterwheel	- 16-	Separate.....	- 31-
約束事と規則.....	- 1-	Fold / Cross Fold.....	- 17-	a. Around 1 or 2 to a Line.....	- 32-
Passing Rule	- 1-	(a) (Named Dancers) FOLD.....	- 17-	b. Around 1 or 2 and come into the middle) ..	- 32-
Same Position Rule	- 1-	(b) (Named Dancers) Cross Fold.....	- 17-	Shoot the Star / Shoot the Star Full Around .	- 33-
Facing Couples Rule	- 1-	Forward And Back.....	- 18-	Slide Thru.....	- 33-
Ocean Wave Rule	- 1-	Grand Square	- 18-	Slip the Clutch.....	- 33-
スクエアセットの約束事	- 2-	Half Sashay Family	- 19-	Spin Chain Thru.....	- 34-
ダンサーの呼び方.....	- 2-	a. Half Sashay	- 19-	Spin the Top.....	- 34-
Partner/Comer/Opposite/Right Hand Lady	- 2-	b. Rollaway.....	- 19-	Split Two	- 35-
Heads/Sides.....	- 2-	c. Ladies In, Men Sashay.....	- 20-	Square Thru(1,2,3,4) / Left Square Thru(1,2,3,4)-	35-
Couple #1,#2,#3,#4.....	- 3-	Half Tag.....	- 20-	a. Square Thru(1,2,3,4).....	- 36-
Boys/Girls.....	- 3-	Hinge Family.....	- 21-	b. Left Square Thru(1,2,3,4).....	- 36-
Centers/Ends.....	- 4-	a. Couples Hinge	- 21-	Star Thru.....	- 36-
Leaders / Trailers.....	- 4-	b. Single Hinge.....	- 21-	Sweep a Quarter.....	- 36-
簡易版動作の定義.....	- 4-	Ladies Chain Family	- 21-	Swing.....	- 37-
Alamo Style.....	- 5-	a. Two Ladies Chain (Regular and 3/4).....	- 21-	Swing Thru / Left Swing Thru.....	- 37-
Allemande Left.....	- 5-	b. Four Ladies Chain (Regular and 3/4).....	- 22-	a. Swing Thru	- 38-
Arm Turns.....	- 5-	c. Chain Down The Line	- 22-	b. Alamo Swing Thru	- 38-
Bend the Line	- 6-	Lead Right/Lead Left.....	- 22-	c. Left Swing Thru	- 38-
Box the Gnat.....	- 6-	Left Hand Star / Right Hand Star	- 23-	Tag the Line(In/Out/Left/Right.....	- 38-
California Twirl.....	- 7-	Ocean Wave Family.....	- 23-	Thar Family.....	- 38-
Cast Off 3/4.....	- 7-	a. Step To A Wave	- 23-	a. Allemande Thar	- 38-
Centers In.....	- 8-	b. Wave Balance	- 24-	b. Allemande Left To An Allemande Thar	- 39-
Circle Left / Circle Right.....	- 8-	Pass the Ocean.....	- 24-	c. Wrong Way Thar	- 40-
Circle to a Line	- 9-	Pass Thru.....	- 25-	Touch 1/4	- 40-
Circulate Family.....	- 9-	Pass to the Center.....	- 25-	Trade Family.....	- 40-
Cloverleaf.....	- 10-	Promenade Family	- 25-	Trade By.....	- 41-
a. Cloverleaf - Everyone Active.....	- 10-	a. Couples (Full, 1/2, 3/4).....	- 25-	Turn Back Family	- 41-
b. Cloverleaf - Only Two Couples Active.....	- 11-	b. Single File Promenade.....	- 26-	a. U-Turn Back.....	- 41-
Courtesy Turn.....	- 11-	c. Wrong Way Promenade.....	- 27-	b. Backtrack.....	- 42-
Dive Thru.....	- 12-	d. Star Promenade.....	- 27-	Turn Thru.....	- 42-
Dixie Style to an Ocean Wave.....	- 12-	Recycle(from a wave only).....	- 27-	Veer Left / Veer Right.....	- 43-
Do Paso.....	- 13-	Right and Left Grand Family.....	- 28-	Walk Around The Comer.....	- 43-
Dosado/Dosado to a Wave.....	- 13-	a. Right and Left Grand.....	- 28-	Walk And Dodge	- 43-
a. Dosado.....	- 13-	b. Weave the Ring.....	- 28-	Wheel And Deal	- 44-
b. Dosado to a Wave.....	- 14-	c. Wrong Way Grand.....	- 29-	a. Wheel And Deal (from lines of four)	- 44-
Double Pass Thru.....	- 14-	Right and Left Thru.....	- 29-	b. Wheel And Deal (from two-faced lines)	- 44-
Eight Chain Thru/Eight Chain 1, 2, 3, etc.....	- 14-	Run/Cross Run.....	- 29-	Wheel Around	- 45-
Extend (from 1/4 Tag only).....	- 15-	a.(Named Dancers) Run.....	- 30-	Zoom.....	- 45-
Ferris Wheel	- 15-	b. (Named Dancers) Cross Run.....	- 30-		
First Couple Go Left/Right,.....	- 16-	Scoot Back.....	- 30-		

序文

はじめに

本書は各コールの技術的な定義を網羅した「コーラーラブ・ベーシック・メインストリーム動作の定義」の簡易版である。各コールの短い動作説明と、それに伴うスタイリングやタイミングが含まれている。コールをしたり、指導するときのヒントも適宜含まれている。動作の詳細を完全に知るためには、他の技術的な定義書を参照されたい。

約束事と規則

通り過ぎるときの規則 (Passing Rule)

本動作の定義により二人のダンサーが同じ経路を進み、互いに通り過ぎる必要がある場合は、(別に指定されない限り)右肩で通り過ぎ、動作を続ける。鏡像に変換して(ミラーで)踊る場合は左肩で通り過ぎ、動作を続ける。(例: Left Double Pass Thru)

同一位置の規則 (Same Position Rule)

二人のダンサーが同一位置で動作を終わってこの位置に止まり、互いに反対方向を向く場合は右手のミニウェイブを作る。もし調整が必要な場合は(一人のダンサーであるべき隊形に二人のダンサーが横に並ぶので)、一緒に動いている組の外方向へ横側に調整する。

向き合っているカプルの規則 (Facing Couples Rule)

オーシャンウェイブから始めると定義された動作のうちいくつかは、向かい合ったカプルから始めても適切といえる。例えば、Swing Thru (スイング スルー)、Spin The Top (スピン ザ トップ)である。この場合ダンサーは一歩進んで瞬時のオーシャンウェイブを作ってから、コールされた動作を行う。

コーラーが左手からのコール(例: Left Swing Thru-レフト スイング スルー)を指示した場合は、瞬時に左手オーシャンウェイブを作る。

向き合っているカプルの規則が適用される場合、本動作の定義書ではこの効果があることを注釈の中で述べる。このような注釈がない場合は、向き合っているカプルの規則は使えない。

向き合っているカプルの規則とは呼ばれるものの、向き合っているダンサーが一歩進んだ右手のミニウェイブ、向かい合っているラインが一歩進んだ右手のタイダルウェイブ等も概括的に含まれる。

向き合っているカプルの規則の適用により動作のタイミングは変わらない。

オーシャンウェイブの規則 (Ocean Wave Rule)

向き合っているカプルから始めるよう定義された動作も、右手のオーシャンウェイブから始めることは適切といえる。例えば、Right And Left Thru (ライト アンド レフト スルー) と Square Thru (スクエア スルー) である。この場合ダンサーはすでに向き合っているダンサーに一歩進んだ位置にあり、指示された動作の残りを完了すればよい。ダンサーを教え理解させるためには、ダンサーを向き合っているカプルの位置まで後退させ、改めてウェイブに戻し、動作を完了してみる必要があるかもしれない。

スクエアセットの約束事

向き合っているダンサーまたは向き合っているカプルが動作を始める隊形と定義されている動作は、スクエアセットから始めることも可能で、適切である。コーラーはどのペア、例えば Heads (ヘッズ)、Boys (ボーイズ)、が動作を始めるか指示しなければならない。

指示された Active (アクティブ)ダンサーはセットの中央に進み出て動作を行う。Active (アクティブ)ダンサーがまだ指示を受けていない Inactive (インアクティブ)ダンサーと向き合い合って動作が終わった場合、この Active (アクティブ)ダンサーはセットの中央にいる。例えば、Heads Square Thru 4 (ヘッズ スクエア スルー フォー)、Heads Star Thru (ヘッズ スター スルー)、Heads Touch 1/4 (ヘッズ タッチ ア クォーター)である。

Active (アクティブ)ダンサーが Inactive (インアクティブ)ダンサーとは向き合わないで動作が終わった場合は、Active (アクティブ)ダンサーはスクエアセットの位置へ行く。はっきりした理由がある場合はこの限りでなく、中央に止まる。ダンサーがスクエアセットの位置へ行く動作の例は、Head Ladies Chain (ヘッド レイディーズ チェーン)、Heads Right And Left Thru (ヘッズ ライト アンド レフト スルー)、Heads Pass Thru (ヘッズ パス スルー)、Heads Square Thru 3 (ヘッズ スクエア スルー スリー)である。

タイミングとしては、Move Into The Center (ムーブ イントゥザ センター)は次にコールされる動作に2拍を加える。

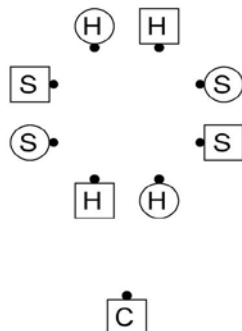
ダンサーの呼び方

パートナー / コーナー / オポジット / ライトハンド レイディー (Partner/Corner/Opposite/Right Hand Lady)

普通のカプルのスクエアセットでは、各ダンサーのパートナーは隣にいるダンサーで、各ダンサーのコーナーはそのダンサーが”一番近いスクエアセットの角”を回って次にいるダンサーである。オポジット レイディーは各男性から見てセットの反対側にいる女性である。ライト ハンド レイディーはスクエアセットの角を回った各男性の右側にいる2番目の女性である。カプルまたはミニウェイブでは、それぞれのダンサーは互いに隣の人のパートナーである。

ヘッズとサイズ (Heads/Sides)

スクエアセットからコールを始めるとき、Heads (ヘッズ)は二つの向き合い合うカプルで、コーラーに前を向けている組と背を向けている組である。Sides (サイズ)は二つの向き合い合うカプルで、コーラーに対して直角に立つ組である。



C = コーラー H = Heads (ヘッズ) S = Sides (サイズ)

ダンサーが Heads (ヘッズ)であり Sides (サイズ)となるには最初にスクエアセットを作ったときに決まる。すなわち、Heads (ヘッズ)は”当初からのヘッズ”を意味する。

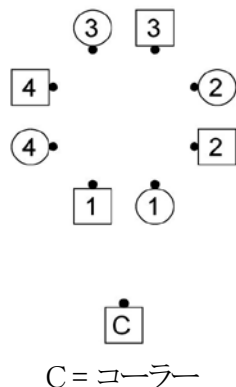
ヘッドの男性とサイドの女性がプラマネイドしている場合、”Heads (ヘッズ)”というと、”ヘッドの男性と共にいるサイドの女性”を意味する。例えば、Heads Wheel Around (ヘッズ ウィール アラウンド)である。Sides (サイズ)についても同様である。

シンギングコールのフィギュアではほとんどの場合女性はそれぞれ次の男性へと進む。この場合女性は一時的にヘッズかサイズとなり、その男性のホーム位置に進む。

カプルNo. 1、No. 2、No. 3、No. 4 (Couple #1,#2,#3,#4)

スクエアセットからコールを始めるとき、コーラーに背中を向けている組が、カプルNo. 1で、その右の組がカプルNo. 2というように反時計回りに続く。

ダンサーの番号はスクエアセットを最初に作ったときに設定される。



シンギングコールのフィギュアではほとんどの場合女性はそれぞれ次の男性へと進む。この場合女性は一時的に男性のカプル番号となり、その男性のホーム位置に進む。

”Couples 1 And 3 (カプルズ ワン アンド スリー)”と”1 And 3 (ワン アンド スリー)”は”Heads (ヘッズ)”と同じである。同様に、”Couples 2 And 4 (カプルズ トウ アンド フォー)”と”2 And 4 (トウ アンド フォー)”は”Sides (サイズ)”と同じである。

男性と女性 (Boys/Girls)

男性は最初にスクエアセットを作ったダンサーで、各カプルの左側ダンサーである。女性は最初にスクエアセットを作ったダンサーで、各カプルの右側ダンサーである。男性へのコールとしては、Boys (ボーイズ)、Men (メン)、Gents (ジェンツ)、Gentlemen (ジェントルメン)、Guys (ガイズ)があり、女性へのコールとしては、Girls (ガールズ)、Women (ウイメン)、Ladies (レイディース)、Gals (ギャルズ)がある。ダンサーの実際の性にかかわらず、最初にスクエアセットを作った時、カプルの左側に立ったダンサーは男性の役割を果たし、右側のダンサーは女性の役を行う。

センターズ/エンズ (Centers/Ends)

スクエア(または隊形)の中心に近いダンサーが”Centers (センターズ)”と呼ばれる。スクエア(または隊形)の外側にいるダンサーが”Ends (エンズ)”と呼ばれる。

リーダーズ/トレイラーズ (Leaders / Trailers)

リーダーズとトレイラーズ(Leaders and Trailers)についてよく理解することが重要となる。動作を定義し(例えばCloverleaf)、教えるときに(例えばZoom)利用されるからである。また、この言葉はダンス中にコールされる場合もある(例えばLeaders Trade)。

どのようなボックス隊形であっても、ボックスから外を向いている人がリーダーズ(Leaders)で、ボックスの中を向いている人がトレイラーズ(Trailers)である。

簡易版動作の定義

動作の定義はアルファベット順に示され、それぞれの簡易版動作の定義は8部分に包括されている。

1. **動作名** ダンスプログラムに書かれているもの。通常はこの名前がコールされる。
2. **動作を始める隊形** 一般的な動作を始める隊形をすべて記載した。稀に”のみ”という言葉を使った場合があるが、これは記載した動作を始める隊形のみを指示するもので、これ以外は使用すべきではない。
3. **動作** 英語、他の動作名またはその両方を使って、動作をどのように行うかを説明。複雑な動作は順を追って部分部分に分解して説明される。
4. **動作を終わる隊形** 読者が動作を理解できたかどうか、ダブルチェックできるように、動作を終わる隊形を附した。
5. **タイミング** それぞれの動作を実行する際には、音楽の各1拍に合わせて1歩を進むが、この歩数(拍数)はメインストリーム委員会によって定められ、それぞれの動作に与えられている。
6. **スタイリング** 手の位置、手の取り方やスカートを使い方など推奨スタイリングを示した。
7. **コール時のヒント** 動作をどのようにコールするかを助言するコール時のヒントを示した。
8. **講習時のヒント** ダンサーが動作を勉強し、コーラーがよりよくダンサーを教えるための講習時のヒントを示した。コーラーラブでは、この表題について、より多くの情報を丸々集めた“ベーシックとメインストリーム講習のヒント”を発行している。

どのような動作についてでも、さらにより多くの情報を必要とする場合、インターネットから使用できる下記コーラーラブ文書を参照してください。

“ベーシックとメインストリームの定義” <http://www.callerlab.org/Default.aspx?tabid=610&id=7>

“ベーシックとメインストリームのリスト” <http://www.callerlab.org/Default.aspx?tabid=610&id=6>

“ベーシックとメインストリーム講習のヒント” <http://www.callerlab.org/Default.aspx?tabid=610&id=317>

“付加言語集” <http://www.callerlab.org/Default.aspx?tabid=737&id=124>

Alamo Style (アラモ スタイル)

動作を始める隊形: Allemande Left (アレマンド レフト)に同じ。

動作:

皆で Allemande Left (アレマンド レフト)を行うが、Arm Turn (アーム ターン)を男性がスクエアの中心を、女性が外を向くまで続ける。左手はそのまま維持し、右手は隣の人とつなぎ、Alamo Ring (アラモ リング)を作る。

動作を終わる隊形: Alamo Ring (アラモ リング)

タイミング: 4拍

スタイリング:

両手を同時に挙げ、前腕を取っている Allemande Left (アレマンド レフト)から滑らかに、Step To A Wave (ステップ トゥ ア ウエイブ)のスタイリングで、Alamo Ring (アラモ リング)に移行する。

コール時のヒント:

Balance (バランス)を Alamo Style (アラモ スタイル)で使うと楽しい。

Allemande Left (アレマンド レフト)

動作を始める隊形: ダンサーが90度又はそれ以内で障害なく回って、コーナーを向くことができるすべての隊形

動作:

必要があれば、ダンサーはその場で個々に90度回り、男性がロング ウエイ プラマネイド方向を向き、女性が プラマネイド方向を向く。左手のArm Turn (アーム ターン)で少なくとも半分(180度)回り、男性がプラマネイド方向を向き、女性がロング ウエイ プラマネイド方向を向いて通り過ぎる。

動作を終わる隊形:

皆がそのパートナーと向かい合っているRight and Left Grand Circle

タイミング:

1/2 アームターン: 4-6拍、3/4 アームターン: 6-8拍、1周のアームターン: 8拍

スタイリング: 前腕を取る。

講習時のヒント:

ダンサーはいろいろな場合での Allemande Left (アレマンド レフト)を広く経験することにより、コーナーがどこにいるか徐々にわかるようになる。コーラーは例えば互いに回転するのに反発があるような遠心力を使った、反対側に引き合うダンスも教えなければならぬ。手はぎゅっと握ってはいけません。

Arm Turns (アーム ターンズ)

動作を始める隊形:

向かい合っている人、Alamo Ring (アラモ リング)またはMini-Wave (ミニ ウエイブ)を含むすべてのウエイブ。

動作:

ダンサーは指示された前腕(右または左)を取り、指示されたところまで、または次の動作に必要などころまで(例えば、Right Arm Turn Partner、To The Corner、Allemande Left)、互いに相手の周りを回って歩を進める。

動作を終わる隊形: 次のコールによる。

タイミング: 1/2: 4拍、3/4: 4から6拍、全周: 6から8拍。

スタイリング:

手は手首を過ぎて取るが、肘を過ぎてはいけぬ。各ダンサーは相手の人の腕を内側で取る。手でぎゅっと握ってはいけぬ。回転の中心点は互いにとった前腕の中心である。

講習時のヒント:

コーラーは Allemande Left (アレマンド レフト) 時と同じように遠心力を使った反対側に引き合うダンスも教えるべきである。

Bend the Line(ベンドザライン)

動作を始める隊形:

One-Faced Line (ワン フェイスト ライン)、Two-Faced Line (トゥ フェイスト ライン)、Tidal Line of 6 or 8 (6人または8人のタイダルライン)。

動作: ラインの半分それぞれが一組となり、90度向きを変え隊形の中心を向く。

動作を終わる隊形:

4人のラインは向かい合ったカップルで終わり、6人または8人のタイダルラインは向かい合ったラインで終わる。

タイミング: 4人のライン: 4拍、6人または8人のタイダルライン: 6拍。

スタイリング:

4人のラインからラインの端の人が前進し、中央の人が等距離を後退する。手は普通のカプルハンド。新しくラインができたらずきに皆で手を繋ぐ。6人または8人のタイダルラインからは、ラインの半分それぞれで手を離さない。ラインの一番端の人が前進し、一番中央の人が等距離を後退する。調節して向かい合ったラインで終わる。

Box the Gnat(ボックスザナット)

動作を始める隊形: 向かい合っている人(男性と女性)。

動作:

互いに前進し、右手を取って上に挙げる。女性は前進し、繋いで上に挙げた手の下を左回りに U Turn Back (ユーターンバック) をする。男性は同じく前進し、女性を右回りに回って U Turn Back (ユーターンバック) をする。互いに向かい合い、相手の動作開始時の位置に立って動作を終わる。

動作を終わる隊形: 右手はハンドシェイクに取り、向かい合う。

タイミング: 手を取り合ってから4拍。

スタイリング:

シェイクハンドで動作を始める。手は指で取り、男性の指は女性の指の外側をスムーズに回し、女性が安全に安定して回転できるようにする。

講習時のヒント:

ごく僅かな力で引っ張るように動作を始め、力をさらにゆるめて、最後に再び僅かな力を込めて手を取る。

California Twirl(カリフォルニア トワール)

動作を始める隊形: 普通のカプルのみ。

動作:

パートナーと繋いだ手を上げてアーチを作り、互いに位置を交換する。女性は前進しながら繋いだ手の下を左回りに半分小さく回る。男性は右回りに少し大きく半分回る。ダンサーは右肩を通り過ぎて位置を交換し、動作を始める前と正反対の方向を向いて終わる。

動作を終わる隊形: カプル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

男女とも手はルースハンドに取り、外側の手は自然なダンス位置におく。円滑に動くために、アーチを作るためにつないで上げた手は少し後方へ動かす。これでダンサーにとっては当初の互いに向き合う動作となる。

男性は女性を巻き込むようにしたり回したりしないことが大切で、男性の手は女性が安定して自分で回れるよう支えているだけである。

動作が完了した後、手はカプルハンドにつながり変える。

Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)

動作を始める隊形: ミニウエイブまたは4人のライン。

動作: ミニウエイブからは、二人のダンサーが互いに繋いでいる手の位置が中心点となり、3/4回転する。4人のラインからは、外端の人が中心となる。ラインの各半分がそれぞれ一組となり、ラインの中心から離れるように外へ円周上を3/4(270度)前進する。

動作を終わる隊形:

ミニウエイブからは、Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)するとミニウエイブで終わる。One-Faced Line(ワン フェイス ライン)、Two-Faced Line(トゥ フェイス ライン)からCast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)すると向かい合ったカプルで終わる。Three and One Line(スリー アンド ワン ライン)からはボックスで終わる。Inverted Line(インバーテッド ライン)からはInverted Line(インバーテッド ライン)のまま終わる。

タイミング: 6拍。

スタイリング:

動作を行っている間、ダンサーはそのままの手の取り方を保持する。即ち、ミニウエイブのダンサーはオーシャンウエイブの手の取り方、カプルでいるダンサーはカプルの手の取り方を保持する。肘をかけて回るべきではない。

講習時のヒント:

ウエイブから Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)を講習する場合、使っていないほうの手を動作が終わるまで下げさせておく。もしこの使っていないほうの手を早く上げると、初心者は異なったダンサーとあわててウエイブを作る傾向がある。Centers In(センターズ イン)と Cast Off (キャスト オフ)は共に独立した動作である。しかしながら、Double Pass Thru(ダブル パス スルー)を終わった隊形から、Centers In(センターズ イン)と Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)はよく使われる組み合わせで、ダンサーにとっては楽しく、センターから離れて Cast Off(キャスト オフ)する間には声上がる。

Centers In(センターズ イン)

動作を始める隊形:

ダブル パス スルーが終わった隊形、エイト チェイン スルー。セットの中央に背を向けているカプルがいて、各センターのダンサーが外側にいるダンサーを直接見ている隊形がより一般的である。

動作:

方向を変えることなく、外側に位置する人が互いに一歩離れて空間を作り、中央の人がその間にはいる。

動作を終わる隊形: 各種

ダブル パス スルーが終わった隊形からは外向きのライン。エイト チェイン スルー隊形からは外端が中向きのインバーテッド ライン

タイミング: 2拍

スタイリング:

中心にいるダンサーが歩を進めて外側にいるダンサーの間に入り、適切(同じ方向を向いている場合はカプルの手のとり方、反対方向を向いている場合はオーシャンウエイブ)に手を取る。肘をかけるべきではない。

講習時のヒント:

“Centers In(センターズ イン)”は独立した動作であり、常に Cast Off 3/4(キャスト オフ スリー クォーターズ)があとに続くとは限らないことを強調したい。

Circle Left (サークル レフト) / Circle Right (サークル ライト)

動作を始める隊形: スクエアセット、2人以上の内向きサークル、向かい合ったカプル。

動作:

ダンサーは隣の人と手をつないで円(サークル)を作り、この円(サークル)を指示された方向へ動かす。方向が指示されない場合は左へ動く。動く量は距離を指定される場合がある。または、次のコールがあるまで(例: Circle Left ... Circle Right)。

動作を終わる隊形:

8人のサークルでスクエアセットのホームポジションで終わる場合を除き、動作を始める隊形に同じ。

タイミング:

8人のサークル: 1/4周: 4拍、1/2周: 8拍、3/4周: 12拍、全周: 16拍。

4人のサークル: 1/4周: 2拍、1/2周: 4拍、3/4周: 6拍、全周: 8拍。

スタイリング:

ダンサーは手をつなぎ(カプルの手の取り方)円を作るが、動く方向により少し左または右を向く。ダンサーは手をつなぎ歩くが、肘は楽に曲げ、手は肘よりも上になるようにする。サークルにおけるカプルの手の取り方は、男性女性が交互にいるサークルでは、男性の手のひらを上、女性の手のひらを下にし、他のサークル、例えば男性男性女性女性では、それぞれ右手のひらを上、左手のひらを下にする。

講習時のヒント:

ダンサーは移動方向に少し体を向け、音楽のビートに合わせてシャフルステップで動き、身体は弾ませずに滑らかに踊る。

Circle to a Line(サークル トゥー ア ライン)

動作を始める隊形: エイト チェイン スルー。

動作:

それぞれの向かい合ったカプルはサークルを左へ1/2(180度)回る。新しく外側に出た左側のダンサーは左手を離して左側にずれ、(他の4人のダンサーで作られたラインに向き合う)ワンフェイスラインの左端となる。この左手以外の手は繋いだままである。他のダンサーは円回転を続け、徐々にこの円回転を終わってワンフェイスラインに移行する。最終に位置する人は円回転を終わって前進し、左回転のトワールで自分と隣の人で作ったアーチの下を潜る。California Twirl(カリフォルニア トワール)と類似の動作である。

動作を終わる隊形: 向かい合ったライン。

タイミング: 8拍。

スタイリング:

サークル部分はサークルエイトと同じスタイリング。アーチの下でトワールを行うダンサーは互いにつないだ手を上にあげ、アーチを作る。

コール時及び講習時のヒント:

だれが“手を離す”かを指定するコーラーもいる。即ち誰が左手を離し、ラインの左端で終わるかである。この言葉は役には立つが特に言わなくてもよい。使われた場合、サークルを左へ1/2回転した後、外側に出る左側のダンサーを指し示している。

Circulate Family(サーキュレイト ファミリー)

動作を始める隊形: ウェーブ、カラム、ライン、トゥー フェイスト ライン。

動作:

指示された人(アクティブ)は循環路に沿って次の位置に前進する。各種隊形の循環路は点線で図に示した。

(a) (指示された人) CIRCULATE: Boys, Girls, Centers, Ends がサーキュレイト。

(b) ALL 8 CIRCULATE (オール エイト サーキュレイト): カラムにいるダンサーはカラムの循環路に従う。ウエイブまたはラインにいるダンサーはウエイブまたはラインの循環路に従う。

(c) COUPLES CIRCULATE (カプルズ サーキュレイト): それぞれのカプルがー組となり、カプルの循環路に沿って次の位置に進む。

(d) SINGLE FILE CIRCULATE (シングル ファイル サーキュレイト): ダンサーはカラムの循環路に沿って次の位置に進む。

(e) SPLIT CIRCULATE (スプリット サーキュレイト): 隊形は二つのボックスに分けられており、ダンサーは自分がいるボックスの循環路に沿って次の位置に進む。

(f) BOX CIRCULATE (ボックス サーキュレイト): 各ダンサーはボックスの循環路に沿って次の位置に進む。

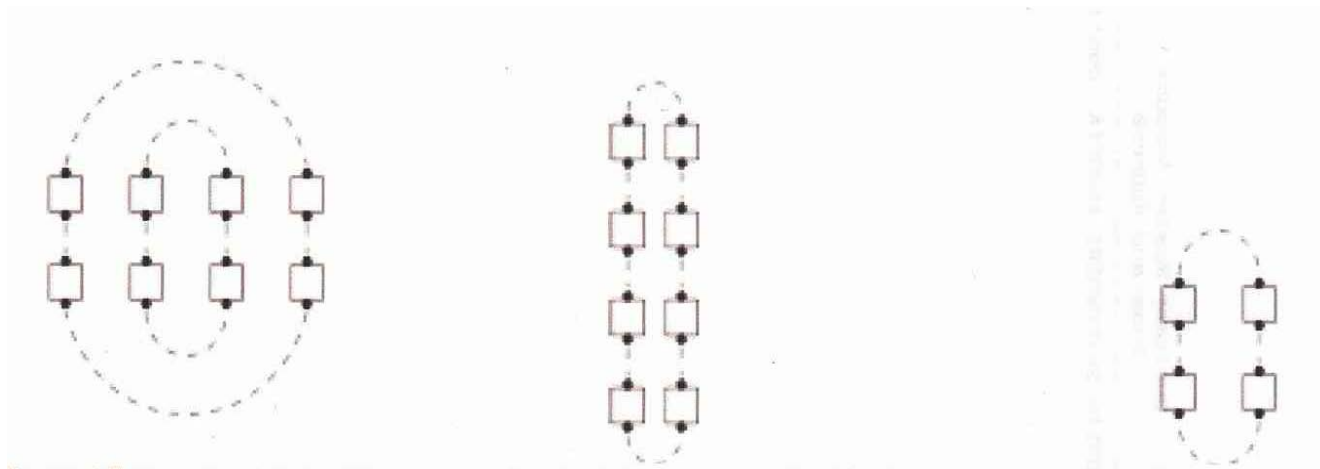
動作を終る隊形: 動作を始める隊形と同じ。

タイミング: シングル ファイル サーキュレイト: 2拍、他のサーキュレイト: 4拍。

スタイリング:

Couples Circulate (カプルズ サーキュレイト)を行う時はカプルの手のとり方。腕は自然な手の位置を保持し、次のコールにおける適切な手の位置に備える。

講習時のヒント: 他のダンサーがいない場所への循環路をダンサーによく理解させる。



総合ライン循環路

総合カラム循環路

総合ボックス循環路

Cloverleaf (クローバーリーフ)

a. Cloverleaf -Everyone Active(クローバーリーフ皆がアクティブ)

動作を始める隊形: ダブル パス スルーが終わった隊形。

動作:

リードの位置にいる人は互いにパートナーと離れるように別れ、円周上を3/4(270度)回る。反対側から来た別のリ

ードの人と近づいたとき、互いに外側の手を伸ばし、カプルの手のとり方でパートナーとなってスクエアの中央に進む。後ろに位置した人(トレイラー)はその前の人(リーダー)に続き、真後ろに位置して動作を終わる。

動作を終わる隊形: ダブル パス スルー

タイミング: 8拍

スタイリング:

腕は自然な手の位置で、スカートワークは自由。互いに会う時はカプルの手のとり方となる。

講習時のヒント:

高速道路のインターや四葉のクローバーの一葉を思えば、よき移動路を描くことができ、良きダンスにつながる。

b. Cloverleaf - Only Two Couples Active(クローバーリーフ 2カプルのみアクティブ)

動作を始める隊形: 2カプルが何処かでセットの外を向いている隊形(例えばTrade By-トレイド バイ)。

動作:

指示された人はセットの外を向いていなければならない。この人たちがセットの中心にいる場合は、まず前進して、次に互いにパートナーと離れるように別れ、円周上を3/4(270度)回る。セットの反対側から来た人に会ったとき、カプルとなって中心を向く。もし他に誰も前を向いていなければ、セットの中心に歩を進める。

動作を終わる隊形: 各種。アクティブダンサーが中向きのカプルとなる。

タイミング:

アクティブダンサー: 6拍(または、センターに入る場合: 8拍)。インアクティブダンサー: 0拍(センターとして始めた場合)または2拍(エンズとして始めた場合)。

Courtesy Turn (カーテシー ターン)

動作を始める隊形:

カプル(ベーシックとメインストリームでは普通のカプルのみ)。または男性と女性が向かい合っている隊形。

動作:

女性はその左手を掌を下にして、掌を上にした男性の左手に乗せる。男性の右手は女性の背中に廻して腰の部分に置く。男性が後退し女性が前進することにより回転し、一体となってこの動作を行う。回転の中心は二人の間となる。この動作を行うと、向かい合ったダンサーは普通のカプルに移行する。

動作を終わる隊形:

カプル。コーラーによって特に指示されない限り、カプルはセットの中心を向くか動作を行う隊形の中心を向く。男性と女性が向かい合っている状態からコールがあった場合、男性が向いていた方向と同じ方向を向いて動作を終わる。

タイミング: 4拍

スタイリング:

女性が男性の手に手を置くときは、指を丸めて男性の指を巻くようにする。こうすることにより男性は回転動作中によりよく女性をリードできる。特に女性の回転に少しでも抵抗がある場合は有効である。女性の右手は次の動作の用意をする位置に置くか、スカートを持つ。Courtesy Turn(カーテシー ターン)終了後は通常のカプルの手の取り方に戻る。

コール時及び講習時のヒント:

Courtesy Turn(カーテシー ターン)のあと“And A Quarter More(アンド ア クォーター モア)”というコールを使うことができるが、更に90度回転を付加することである。また、“Full Turn(フル ターン)”というコールも使えるが、これはカプルが全360度回転することになる。

Dive Thru (ダイブ スルー)

動作を始める隊形: (少なくともどちらかひとつが普通である)向かい合ったカプル。

動作:

カプルがつないだ手を上げてアーチを作り、他のカプルがこのアーチをくぐる。両カプルとも前進し、アーチを作ったカプルはCalifornia Twirl(カリフォルニア トワール)をする。

とくに何も指示がない場合は、スクエアの中心に背を向けたカプルがアーチを作り、外にいるカプルがアーチを潜る。どちらのカプルもスクエアの中心に背を向けていない場合は、コーラーは誰がアーチを作るのか、または誰がアーチを潜るのか指示しなければならないが、両方が好ましい。

動作を終わる隊形: 縦に並んだカプル。

タイミング: 潜るカプルは2拍、アーチを作るカプルは6拍。

スタイリング:

アーチを作るカプルは手をルースハンドに取って充分離れて立ち、前のカプルがこのアーチを潜り易くする。アーチを作っている手が潜る人を通すのにきつい場合は、瞬時手を離してもよい。アーチを作ったカプルはアーチを維持し、手を下ろしまた手を挙げるのではなく、滑らかにCalifornia Twirl(カリフォルニア トワール)に移行する。

潜るカプルはカプルの手のとり方で、アーチの下を通る時は充分身を屈め、パートナーに出来るだけ近づくとよい。

コール時のヒント:

アーチを作るカプルは、California Twirl(カリフォルニア トワール)を行うため、普通のカプルでなければならない。Dive Thru(ダイブ スルー)はほとんどの場合Eight Chain Thru(エイト チェイン スルー)隊形からコールされ、Double Pass Thru(ダブル パス スルー)隊形が終わる。

Dixie Style to an Ocean Wave(ディキシー スタイル トゥー アン オーシャン ウェーブ)

動作を始める隊形: 向かい合っているカプルまたは前後の位置で向かい合っている隊形。

動作:

向かい合っているカプルからの場合は、右側の人が左斜め前に前進し、前後の位置で向かい合っている隊形の先頭(リーダー)となる。先頭ダンサーは右手を引っ張って通り過ぎ、後ろの人とLeft Touch 1/4(レフト タッチ 1/4)を

行。新たに中央となった人(当初のトレイラー)は右手を繋いで左手のオーシャン ウエイブとなる。

動作を終わる隊形: 左手のオーシャン ウエイブ。

タイミング: 6拍。

スタイリング:

先頭ダンサーはシェイクハンドの手の取り方で始め、左手のオーシャン ウエイブを作るときはオーシャンウエイブのスタイリングに調節する。後ろのダンサーは体を少し右に向け、向かってくる先頭ダンサーを受けやすいように、手を備える。

コール時のヒント: しばしば”Ladies Lead(レイディース リード)”という言葉が先行する。

Do Paso(ドウ パソウ)

動作を始める隊形:

Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)、内向きの4人、6人、または8人サークル、パートナーと向き合って終わり、左手が使えるすべての隊形。

動作:

コーナーと向き合うまでパートナーとLeft Arm Turn(レフト アーム ターン)し腕を離す。パートナーに向き合うまでコーナーとRight Arm Turn(ライト アーム ターン)し腕を離す。更なる指示がない場合は、パートナーをCourtesy Turn(カーテシー ターン)してセットの中央を向いて終わる。次の指示がある場合はこれに従うが、パートナーとLeft Arm Turn(レフト アーム ターン)または向かい合った人と左手を使うコールであろう。

動作を終わる隊形:

Courtesy Turn(カーテシー ターン)して終了した場合はセットの中央を向いた隊形。これと異なる場合は、パートナーを左手で回せるか、向かい合ったパートナーと次のコールを左手から始めることが可能な隊形。

タイミング: 12拍。

スタイリング:

手は全てフォアアームにとり、左手右手と交互に使う。Courtesy Turn(カーテシー ターン)の代わりに他の異なる動作を行う場合は、その動作のスタイリングに従う。

コール時のヒント:

先行するコール(例えば、Walk Around The Corner)により、Do Paso(ドウ パソウ)への入り方により豊富な使い方が可能となるが、必ずしも必要ではない。Do Paso(ドウ パソウ)は独立したコールである。

Dosado (ドーサードー) / Dosado to a Wave (ドーサードー トウ ア ウエイブ)

a. Dosado (ドーサードー)

動作を始める隊形: 向かい合ったダンサー。

動作:

ダンサーは前進し(右肩を通り過ぎて)、右横へ動き(互いに背中合わせとなって)、後退して(左肩を通り)、左へ少し動いて動作を始めた位置へ戻る。オーシャンウェイブの規則が適用される。

動作を終わる隊形: 向かい合ったダンサー。

タイミング:

スクエアセットからコーナーと: 6拍、パートナーと: 6拍、ボックス隊形から: 6拍。

スクエアセットからオポジションと: 8拍。

スタイリング:

腕は自然な位置に取り、互いに右肩を通るときは右肩を前に出し、互いに左肩で後退してすれ違うときは左肩を前に出す。

講習時のヒント:

本動作は一つの動きで、なめらかに、顔の向いている方向は変えずに動くことをダンサーに覚えさせる。更に、動作の終了時には顔が向き合っていることを確認させる。

b. Dosado to a Wave (ドーサードー トウ ア ウェイブ)

動作を始める隊形: 向かい合ったダンサー。

動作: 滑らかな一動作で、“Dosado(ドーサードー)”をし、一歩進んでオーシャンウェイブを作る。

動作を終わる隊形: 右手のミニウェイブ。

タイミング: 6拍。

スタイリング: Dosado(ドーサードー)とStep to a Wave(ステップ トウ ア ウェイブ)のスタイリングに従う。

Double Pass Thru(ダブルパス スルー)

動作を始める隊形: Double Pass Thru(ダブルパス スルー)。

動作: 前進して右肩で二人を通り過ぎる。

動作を終わる隊形: Double Pass Thru(ダブルパス スルー)を終わった隊形。

タイミング: 4拍。

スタイリング: Pass Thru(パス スルー)に同じ。

Eight Chain Thru (エイト チェイン スルー) /Eight Chain 1, 2, 3, etc. (エイト チェイン スルー 1、2、3等)

動作を始める隊形: エイト チェイン スルー。

動作:

向かい合っている人の右手を取り、引っ張って通り過ぎる。(エイト チェイン ワンの完了)。次に中央で向かい合っている人が左手を取り、引っ張って通り過ぎ、その間に外側に出た人は Courtesy Turn (カーテシー ターン)を行う(エイトチェイン トゥーの完了)。この動作を繰り返しエイト チェイン スリー、フォーを達成する。エイト チェイン スルーはエイト チェイン エイトと同じ。

動作を終わる隊形:

偶数動作(2、4、6、8)はエイト チェイン スルー隊形で終わり、奇数動作(1、3、5、7)はトレイド バイ隊形で終わる。

タイミング: 8ハンズが20拍、4ハンズが10拍。

スタイリング:

Courtesy Turn (カーテシー ターン)と Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)に同じ。但し、Courtesy Turn (カーテシー ターン)を正しく行い、エイト チェイン スルー隊形を正確に維持すると共に、Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)に同じ動作とならないよう強調されるべきである。

Extend (エクステンド) (from 1/4 Tag only) (1/4 Tag (クォータータッグ)隊形からのみ)

動作を始める隊形: 1/4 Tag (クォータータッグ)隊形からのみ。

動作:

ウエイブにいるダンサーは手を離し、向かい合っているカプルへ前進して右手のウエイブを作る。当初のウエイブが左手である場合は左手のウエイブになる。

動作を終わる隊形: 平行なウエイブ。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

動作中全てのダンサーは滑らかに前進し、オーシャンウエイブスタイリングを使う。

講習時のヒント:

動作を開始するウエイブのセンターにいた場合は、終了するウエイブのセンターになる。動作を開始するウエイブのエンズにいた場合は、終了するウエイブのエンズになる。すべてのダンサーが前進して、スクエアを大きく広げすぎないように注意する。

Ferris Wheel (フェリス ウィール)

動作を始める隊形: トゥー フェイスト ライン。

動作:

カプルはそれぞれ前進する。当初外を向いているカプルは Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)をする。当初中を向いているカプルは直進して中央で瞬間的なトゥー フェイスト ラインを作り、引き続き止まらずに Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)を行う。

動作を終わる隊形: ダブル パス スルー。

タイミング: 6拍。

スタイリング:

手は全てカプルの手のとり方で行う。中を向いているカプルは十分前進して中央で瞬間的にトゥーフェイスラインを作り、初めて Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)を行う。動作としては前進してウィールであり、バンドしてスイープではない。

First Couple Go Left/Right(ファースト カプル ゴー レフト/ライト),
Next Couple Go Left/Right(ネクスト カプル ゴー レフト/ライト)

動作を始める隊形: Double Pass Thru (ダブル パス スルー)が終わった隊形。

動作:

各カプルが一組となり、指示された方向へ弧を描くように180度前進する。中にいたカプルは二番目の指示を行う前にまっすぐ前進する。もしカプルが互いに異なる方向へ行くようにコールされた場合は(例えば、First Couple Go Left, Next Couple Go Right (ファースト カプル ゴー レフト、ネクスト カプル ゴー ライト))、向かい合ったラインで終わる。もし二組のカプルが同じ方向へ行くようコールされた場合(例えば、First Couple Go Left, Next Couple Go Left (ファースト カプル ゴー レフト、ネクスト カプル ゴー レフト))、Promenade (プロムネイド)または Wrong Way Promenade (ロング ウエイ プロムネイド)が終わりの隊形となる。

動作を終わる隊形: 向かい合ったライン、プロムネイド。

タイミング: 6拍。

スタイリング:

カプルの手のとり方で、小さく回る側にいる人が回転の中心となり、ウィール アラウンドと同じように少し力を入れてリードする。

Flutterwheel (フラター ウィール)/ Reverse Flutterwheel (リバース フラター ウィール)

動作を始める隊形: 向かい合っているカプル。

動作:

(a) Flutter Wheel (フラター ウィール)

カプルの右側にいる人が進んで右手のフォアアームで回り、向かい側にいる人のところ迄来た時、空いている方の手(左手)を伸ばしこの人の右手を取り、そのまま回転運動を続けて、カプルの右側だった人が動作を開始した位置に戻り、中央で取っていた手を離して、更に回転し中央を向いてカプルの状態で動作を終わる。

(b) Reverse Flutter Wheel (リバース フラター ウィール)

“右手”と“左手”を逆にすることを除いては、Flutter Wheel (フラター ウィール)に同じ。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル。

タイミング: スクエアセットからヘッズまたはサイズが動作する場合8拍、全ての女性が行う場合は12拍。

スタイリング:

中央に進んで回転する人はフォアアーム回転の原則を忘れずに行う。連れて行かれる人は、向かい側から来る人の動作に合わせてその隣に歩を進め、カプルハンドを保持する。女性が外側となった場合は、空いている方の手でスカートを振るのが望ましい。

講習時のヒント:

インアクティブのダンサーであってもコールが行われると同時に動作を開始し、できるだけ早く手を取るよう講習すべきである。

Fold(フォールド) / Cross Fold(クロス フォールド)

(a) (Named Dancers) FOLD 《(指示された人、例えば、BOYS、GIRLS、ENDS、またはCENTERS) フォールド》

動作を始める隊形: 肩を接した二人で構成される全ての隊形。

動作:

指定された人が前進して円周上を移動し、隣の人またはその位置の方向へ向いて終わる。隣の人または次のコール指示があるまで動かない。例えば、Ends Fold while the Centers Trade。

動作を終わる隊形:

カプルから始めた場合、ダンサーと向かい合った隊形。ウェイブ隊形から始めた場合は縦に並んだ隊形。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

隣にいるダンサーは(ほんの少しであるが)邪魔にならないようにする。

コール時及び講習時のヒント:

オーシャンウェイブからエンズが Fold (フォールド)した場合は“Z”隊形で終わる。

(b) (Named Dancers) Cross Fold 《(指示された人、例えば、BOYS、GIRLS、ENDS、またはCENTERS) クロス フォールド》

動作を始める隊形: 総合ライン。

動作:

指示される二人は(両方とも中央に位置するか外端におり)、自分からは遠い方に位置する指示されなかった人(インアクティブ)の方向へ半円を描いて移動して Fold (フォールド)し、この人の方を向いて動作を終わる。指示される二人が両方とも同じ方向を向いている場合は、互いに通り過ぎて Fold (フォールド)を終わる。

タイミング: 4拍。

コール時及び講習時のヒント:

トゥー フェイスト ラインからエンズがFold (フォールド)した場合は“Z”隊形で終わる。

Forward And Back (フォワード アンド バック)

動作を始める隊形: スクエアセット、8人のサークル、向かい合ったライン、指示されたダンサー。

動作:

できるところで隣の人と手をつなぎ、3歩前進し、一瞬止まって、3歩後退し一瞬止まる。互いに近い向かい合ったラインでは、1歩前進し、一瞬止まって、後退し一瞬止まる。

動作を終わる隊形: 動作を始める隊形と同じ。

タイミング:

間が狭いライン: 4拍、その他全て: 8拍。

スタイリング:

各ダンサーは3歩前進し、一瞬止まるが、このとき自由な足を前に出し、床にタッチする。タッチした足には体重を移動しない。次に、各ダンサーはこのタッチした自由な足から3歩後退し、一瞬止まるが、このとき自由な足を体重を支えている足の横にタッチする。

カプルまたはラインは中央で会うことになるが、端にいるダンサーは外側の手のひらと手のひらを合わせても良い。この場合、掌は平らで指先を上にする。

コール時及び講習時のヒント:

Lines Forward And Back (ラインズ フォワード アンド バック)は、壊れたセットが普通の向かい合ったラインを作って待ち、進行するダンスに再び参加できるコーラーからの合図として使われる。

Grand Square (グランド スクエア)

動作を始める隊形: スクエアセット。

動作:

指示されたダンサーはそのパートナーの方を向いて向かい合う。その後すべてのダンサーは次の一連のステップを踏み、歩を進める。1歩は音楽の1拍にとる。直前で向かい合っているダンサーが互いに離れるように4歩後ろに下がる。セットを介して反対側で向かい合っているダンサーは直前に向かい合うまで4歩前進する。4歩目と同時に内側を向くときは、歩を進めながらその場で90度回って他のダンサーに直前で向かい合うかまたはセットを介して反対側で向かい合う。他のステップと同様このステップも1拍で行う。

この動作最初の半分は4歩を一組として連続して動作を続け、16歩目で“逆”の動きに備える。“逆”の動きをするダンサーは16歩目で方向を変えない。次のステップ(17歩)で逆方向へ動き、今までのステップしてきた跡を逆に戻り始める。最終ステップ(32歩)では必要に応じてスクエアセットに戻るため中を向くダンサーがいる。

動作を終わる隊形: スクエアセット。

タイミング: 32拍。

スタイリング:

男性は腕を自然なダンス位置にとり、女性は自然にスカートを振る。カプルとなって前進または後退する時はカプルハンドに手を取るべきである。

コール時のヒント:

コーラーは歩数を指定してもよい(例えば、Sides Face Grand Square, 6 steps)。

講習時のヒント:

Grand Square (グランド スクエア)を遂行中、常に各ダンサーは他のダンサーと直前で向かい合うかまたはセットを介して向かい合う。コーラーはダンサーに対して歩幅を普段より短くし、それぞれの4歩を動くに際し、走らないように講習しなければならない。

Half Sashay Family (ハーフ サッシェイ ファミリー)

Half Sashay Family (ハーフ サッシェイ 群)のコールにより、カプルになっているダンサーはその位置を交換するが、本来向いていた方向は変えない。

a. Half Sashay (ハーフ サッシェイ)

動作を始める隊形: カプル。

動作:

ダンサーが互いに身体の向いている方向を変えず位置を入れ替える。右側の人は左にサイドステップし、左側の人は後ろに下がってから右に移動、そして前進してカプルとなる。

動作を終わる隊形: カプル。

タイミング: 4拍

スタイリング:

手は普通のカプルハンドで、この動作を始める時、男性女性とも互いに少し引っ張り合うようにする。(次のコールに不都合でない限り)動作を終わる時は手をとってカプルハンドで終わる。

b. Rollaway (ローラウェイ)

動作を始める隊形: カプル、内向きの8人サークル。

動作:

カプルの隊形から、右側にいる人(または指示された人)が隣の人の前を完全に360度回転して隣に移り、動作を終わる。隣にいた人は一度後ろに下がり前進し、必要ならば横に滑らかに動いて、空いている位置に移動する。ダンサーは互いに位置を交換して動作を完遂する。内向きの8人サークルで男性と女性が交互にいる場合、特に指示がない場合は女性が男性の前を左に回転して横切り移動する。

動作を終わる隊形: カプル、内向きの8人サークル。

タイミング: 4拍

スタイリング:

ここでは普通のカプル隊形から女性がRollaway(ローラウエイ)する場合を仮定する。

手は普通のカプルの手の取り方で、動作中腕に力を入れてしっかりとつなぐ。

カプル隊形から、男性は少し右斜め後ろに後退し、女性は折れるように進んで男性と向かい合う。動きを止めずに手を持ち替えて、男性は右に前進し、女性は動作を終わる。

前の動作がCourtesy Turn(カーテシー ターン)である場合は、手のつなぎ方が少し異なる。ダンサーは前で左手を取っているが、この状態をRollaway(ローラウエイ)のほとんどで維持する。動作の終了近くに女性はこの左手を離して、右手を男性の左手とつなぐ。

動いているサークルからは、男性が動きを止めて後ろへ下がり、そして前進する。女性は動いているサークルの弾みを使って回転運動を完遂する。

c. Ladies In, Men Sashay (レイディーズ イン、メン サッシュエイ)

動作を始める隊形: 男性と女性が交互にいる内向きの8人サークル。

動作:

Circle Left(サークル レフト)から、女性が1歩中に入り一時停止し、その間男性が女性の後ろを左に1人通り過ぎる。女性は1歩下がってサークルに戻り再び男性と手を繋ぐ。サークルが右へ回る時は男性が右へ移動する。

動作を終わる隊形: 内向きの8人サークル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

男性の手は少し上に上げ、女性とサークルで再び手をつなぐことに備える。女性は中に入るとき、通常スカートを手で持ち、サークルに戻る前に、一瞬スカートを束ねるようにするか、スカートの前を少し上に上げる

Half Tag(ハーフタッグ)

動作を始める隊形: 偶数ダンサーのライン。

動作:

Tag The Line(タッグザライン)と同じようにラインの中央を向き前進するが、中央の人が向こう側の端にいた人と出会ったところで停止する。

動作を終わる隊形:

4人のラインからこの動作を行った場合、右手のボックス サーキュレイト、もっと長いラインから始めた場合は、右手のカラム隊形となる。

タイミング: 4拍。

Hinge Family (ヒンジ ファミリー)

Hinge (ヒンジ)はTrade(トレード)の半分で、全ての隣合った二組のカプルやTradeが出来る人達はHinge (ヒンジ)が可能となる。

a. Couples Hinge (カプルズ ヒンジ)

動作を始める隊形: ラインまたはトゥー フェイスト ライン。

動作:

カプルが一組となって動き、Couples Trade (カプルズトレード)を半分行う。

動作を終わる隊形: 元のラインと直角になったトゥー フェイスト ライン。

タイミング: 3拍。

スタイリング: カプルの手の取り方で、Wheel And Deal (ウィールアンドディール)のスタイリングに同じ。

b. Single Hinge (シングル ヒンジ)

動作を始める隊形: ミニ ウエイブ。

動作: ダンサーは互いにTrade (トレード)を半分行う。

動作を終わる隊形: 元のミニウエイブに対し直角になった位置でミニウエイブとなる。

タイミング: 2拍。

スタイリング: ハンズアップを使う。

Ladies Chain Family (レイディース チェイン ファミリー)

a. Two Ladies Chain (トゥ レディース チェイン) - Regular and 3/4 (通常とスリー・クォーターズ)

動作を始める隊形: 普通に向かい合ったカプル。

動作:

女性は前進し、右手をシェイクハンドで取り、引っ張って通り過ぎ、各男性は右側にステップし、やや左を向く。更に、各男性は左手を出して、この手の上で女性の左手を受け、Courtesy Turn (カーテシーターン)を行う。Ladies Chain 3/4 (レイディース チェイン スリー・クォーターズ)の場合は、女性が前進し、(二人)の右手スターを作り、このスターを3/4回転する。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル、3/4チェインの場合は3人のライン(男性、女性、女性)。

タイミング:

向かい合ったカプルからの場合: 6拍、スクエアセットからの場合: 8拍、3/4チェインからの場合: 10拍。

スタイリング:

男性は少し遅れて動いて、女性が空けた場所へ移動し、歩を進めてくる女性を受けるため、やや左を向き、Courtesy Turn(カーテシターン)の開始に備える。女性はCourtesy Turn(カーテシターン)の間スカートワークを行う。

b. Four Ladies Chain (フォー レイディース チェイン) - Regular and 3/4 (通常とスリー・クォーターズ)

動作を始める隊形: スクエアセット。

動作:

4人の女性は前進し、右手のスターで半分回り、お向かいの男性のところへ行き、皆 Courtesy Turn(カーテシターン)を受けてセットの中心を向く以外は Two Ladies Chain(トゥ レイディース チェイン)に同じ。

動作を終わる隊形: スクエアセット。

タイミング: 通常: 8拍、3/4 チェイン: 10拍。

スタイリング:

男性は Two Ladies Chain(トゥ レイディース チェイン)のスタイリングを使う。女性がスカートをはいている場合は、左手で Courtesy Turn(カーテシターン)を受けることができるので、スカートワークを行うべきである。

講習時のヒント:

女性に対し、男性を数えることを講習する。このことは、特に3/4 チェインの時など、女性が誰とこの動作を終わるのかを知る手助けとなる。

c. Chain Down The Line (チェイン ダウン ザ ライン)

動作を始める隊形: 右手のトゥー フェイスト ライン又は左手のオーシャンウェイブ(ベーシックおよびメインストリームではエンズが男性でセンターズが女性でなければならない)。

動作:

センターズが Trade(トレード)し、エンズがセンターズを Courtesy Turn(カーテシターン)する。ラインまたはウェイブでともにいた人とカプルで向かい合って終わる。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル。

タイミング: 8拍。

Lead Right (リード ライト) / Lead Left (リード レフト)

動作を始める隊形: カプル

動作:

指示されたカプルが一組となって90度弧を描いて前進し、右側の(左側の)カプルまたは壁と向かい合う。

動作を終わる隊形: カプル

タイミング: 4拍。

スタイリング:

動作中はカプルの手のとり方を維持する。外側の手は普通のダンス位置とする。

講習時のヒント:

本動作の最も一般的な使い方では、指示されたダンサーが別のカプルと向かい合って動作を終わる。

Left-Hand Star / Right-Hand Star (レフトハンドスター/ライトハンドスター)

動作を始める隊形: 向かい合っているカプル、スクエアセット、8人の中を向いたサークル。

動作:

指示されたダンサーは必要があれば前進してスターを作り、隊形の中心に適切な手を置く。ダンサーはスターの中央を中心としてサークル上を前進する。回転距離は全周の分数で示されるか、ある条件が満たされるまで(例えば、Men Center Left Hand Star, Pick Up Your Partner with an Arm Around, Star Promenade)となる。

動作を終わる隊形: スター。

タイミング: 1/2: 4拍、3/4: 6拍、全周: 8拍。

スタイリング:

内側の手はパーム スター。男性の外腕は自然なダンス位置で、女性は外側の手でスカートを振る。

講習時のヒント: スターはすべて作ったらすぐ前進する。

Ocean Wave Family(オーシャン ウェーブ ファミリー)

Ocean Wave (オーシャン ウェーブ)は隣接する手を互いに取り合った3人以上の人で構成され、隣合った人とはそれぞれ反対方向に向いている隊形。Mini Wave (ミニ ウェーブ)は2人で構成するOcean Wave (オーシャン ウェーブ)。

Right Hand Wave (ライト ハンド ウェーブ):

偶数の人で構成され、端の人が隣接する人と互いに右手を取っているOcean Wave (オーシャン ウェーブ)。

Left Hand Wave (レフトハンド ウェーブ):

偶数の人で構成され、端の人が隣接する人と互いに左手を取っているOcean Wave (オーシャン ウェーブ)。

Alamo Style Wave (アラモ スタイル ウェーブ):

偶数の人で構成され、互いに隣接する人とサークル上で互いに隣接する手を取っており、隣合った人とはそれぞれ反対方向に向いている隊形。

a. Step To A Wave(ステップ トゥ ア ウェーブ)

動作を始める隊形: 向かい合ったカプル。

動作:

ダンサーはPass Thru (パス スルー)を半分する(即ち、小さく前進し、Mini-Wave(ミニ ウェーブ)を作る)。

動作を終わる隊形: 右手の Mini-Wave(ミニ ウェーブ)

タイミング: 1拍。

スタイリング:

ダンサーは手をハンズアップにとるべきである。ダンサー間の前進距離はダンサーが一步進んで肘を軽く曲げることができるかどうかの位置で決める。パートナーの手を引き下げないように注意する。

コール時のヒント:

普通は向かい合ったカプルからコールされ、右手の Ocean Wave (オーシャン ウェーブ)で終わる

b. Wave Balance (ウェーブ バランス)

動作を始める隊形: Mini Wave (ミニ ウェーブ)、Ocean Wave (オーシャン ウェーブ)

動作:

各ダンサーは1歩前進後瞬時停止し、2歩目を体重の移動無く前の床にタッチ。次にこのタッチした足から後退し、2歩目は1歩目の足の横でタッチする。

動作を終わる隊形: 動作を始める隊形に同じ。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

手は肩より後ろへ行かないようにする。1歩前進、タッチ、1歩後退、タッチと動作するが、好みに応じてツーステップ(ステップ-クローズ-ステップ-ホールド)で前進し、同じく後退してもよい。前進した時に前へ行き過ぎないように、互いに手で抑える。

Pass the Ocean (パス ジ オーシャン)

動作を始める隊形:

向かい合ったカプル(ベーシックとメインストリームでは向かい合ったカプルのみ限定されている)。

動作:

Pass Thru(パス スルー)し、パートナーと向かい合い、Step To A Wave (ステップ トゥ ア ウェーブ)。

動作を終わる隊形: 右手の Ocean Wave(オーシャン ウェーブ)

タイミング: 4拍。

スタイリング:

Pass Thru(パス スルー)を行う部分はPass Thru(パス スルー)と同じスタイリングを使い、Step To A Wave(ステップ トゥ ア ウェーブ)部分はオーシャンウェーブのスタイリングを使う。

Pass Thru (パス スルー)

動作を始める隊形: 向かい合った人。

動作:

ダンサーは前進し互いに右肩を通り過ぎ、背中合わせで終わる。

動作を終わる隊形: 背中合わせ。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

男性は右肩で通り抜ける時右肩を少し前に出す。腕は自然なダンス位置。女性は手でスカートを振るが、右肩で通り抜ける時右手を先に出して進む。

コール時のヒント:

右手ミニウエイブからのPass Thru(パス スルー)は、オーシャン ウエイブの規則により適切である。Step Thru(ステップ スルー)に同じ。左手ミニウエイブからのPass Thru(パス スルー)は、左肩を通り過ぎるため不適切である。Step Thru(ステップ スルー)を使うこと。

Pass to the Center(パス トゥー ザ センター)

動作を始める隊形: エイト チェイン スルー、平行なウエイブ。

動作:

Pass Thru(パス スルー)し、外に出た人はPartner Trade(パートナー トレイド)。

動作を終わる隊形: ダブル パス スルー。

タイミング:

中央で動作を終わる人が2拍、外で動作を終わる人が6拍。

スタイリング: Pass Thru(パス スルー)とPartner Trade(パートナー トレイド)に同じ。

コール時のヒント:

コーラーは新しくセンターに入ったダンサーに直ちに次のコールをし、外に出たダンサーが余裕をもってTrade(トレイド)を終わらせるようにする。

Promenade Family (プラマネイド ファミリー)

Promenade(プラマネイド)は一部のまたは全てのダンサーがスクエアセットの周りを回って歩くことである。アクティブダンサーが個人でまたはカップルで動くこともある。ダンサーはPromenade(プラマネイド)方向(反時計回り)に動くか逆Promenade(プラマネイド)方向(時計回り)へ動く。全周するか短い距離を歩くかコーラーにより指示される。更に指示により、セットの内側を歩くか外側を歩くこともある。

a. Couples -カプルズ(Full-フル, 1/2-ハーフ, 3/4-スリー クォーターズ)

動作を始める隊形: Promenade(プラマネイド)、スクエアセット、Right and Left Grand Circle(男性は反時計回り、女性は時計回りを向いている)。

動作:

必要であれば次のように Promenade(プラマネイド)に調節する。

- スクエアセットからは、カプルとして Promenade(プラマネイド) 方向を向く。
- Right and Left Grand Circle からは、Promenade(プラマネイド) 方向へ向く人は前進して内側へ入り、他の人は向きやすい方向へ回転する。

各カプルは一組となり指示された量、または別に指示されたように円上を前進する。 "Promenade Home(プラマネイド ホーム)"のコールがあった場合、カプルは男性のホーム位置へ Promenade(プラマネイド)する。

あるカプルが名指しされた場合は、別に指示されない場合、セットの外側を Promenade(プラマネイド)する。

Promenade(プラマネイド)はすべてセットの周りを1/4以上回る。もし Promenade(プラマネイド)が1/4未満になる場合は、さらに全周を回るべきである。

Promenade(プラマネイド)を終わるときは、カプルのままでセットの中心を向く。

動作を終わる隊形:

Promenade-プラマネイド(例、Promenade, Keep Walking)、スクエアセット(例:Promenade Home)、セットの外側でセットの中心を向いたカプル(例:Sides Promenade 3/4; Heads Square Thru 3)。

タイミング:

1/4: 4拍、1/2: 8拍、3/4: 12拍、全周: 16拍

スタイリング:

男性は掌を上にし、右腕は女性の左腕の上に。女性は掌を下にして男性の掌に軽くのせる。セットの外側をアクティブダンサーがPromenade(プラマネイド)する場合は、インアクティブダンサーはセットの中心に一步進んで、アクティブダンサーが外側を移動する援助をする。

講習時のヒント:

Right And Left Grand(ライト アンド レフト グランド)終了時やAllemande Left(アレマンド レフト)の後、Promenade(プラマネイド)に右手から入る場合、例えば、"meet your partner with a right hand, join and hold on with your right hand, girls turn back, join your lefts beneath the rights and Promenade"をコールすると新人ダンサーにも優しい。

セットの中心に一步進んだインアクティブダンサーは、後ろへ下がる時、その後ろをPromenade(プラマネイド)するカプルの足を踏まないよう、オポジットカプルの後ろに注目する。

b. Single File Promenade (シングル ファイル プラマネイド)

動作を始める隊形: 内向きの8人のサークル、スクエアセット、カラム。

動作:

ダンサーはシングルファイル(一列)で前進する(指示された通り反時計回り、時計回り、スクエアセットの内側または外側)。

動作を終わる隊形: 次の動作により決まる。

タイミング: 4人のダンサーが内側をプラマネイドしてホームへ帰る場合: 8拍。

スタイリング:

Single File Promenade(シングル ファイル プラマネイド)では、男性は腕を自然なダンス位置に保持する。女性は両手でスカートを取り、自然な動きでスカートを振る。セットの外側をアクティブダンサーがPromenade(プラマネイド)する場合は、インアクティブダンサーはセットの中心に一步進んで、アクティブダンサーが外側を移動する援助をする。アクティブダンサーが完全に通り過ぎた後、インアクティブダンサーは後戻りして元の場所に戻る。

c. Wrong Way Promenade (ロング ウエイ プラマネイド)

時計回り方向にプラマネイドする以外はPromenade(プラマネイド)に同じ。

d. Star Promenade (スター プラマネイド)

動作を始める隊形:

セットの中心にいる4人のダンサーがスターでその外側に4人のダンサー。

動作:

指示されたダンサー(例えば男性)がスターを作り(またはすでに出来ていて)、これを回転する。次に指示されたダンサー(例えばパートナー)と遭遇したときカプルとなって、中心のスターを保持したままプラマネイドする。

動作を終わる隊形:

中心がスターを形成するPromenade(プラマネイド)またはWrong Way Promenade(ロング ウエイ プラマネイド)。スターを形成し腕を腰に回しているため、通常よりはダンサー間隔は狭い。

タイミング:

1/2: 6拍、3/4: 9拍、全周: 12拍、全周してホームへ戻る: 16拍。

スタイリング:

中心のスターはRight-Hand or Left-Hand Stars(ライトハンドまたはレフトハンドスター)と同じスタイリングを使う。スター中のカプルは男性の腕が女性の上にあるカプルの手の取り方を調節して、その近い手を互いに腰にまわす。外側に出た女性は皆外側の手でスカートを振る。外側に出た男性は皆外側の手を腰に置くか横に下げる。

Recycle リサイクル (from a wave only)(ウエイブからのみ)

動作を始める隊形: オーシャンウエイブのみ。

動作:

ウエイブの外側の人がCross Fold(クロス フォールド)を行い、中央の人がその後ろにFold(フォールド)して入り、そのままついて行って内側を向き、2組の向かい合っているカプル隊形となり、動作を終わる。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

腕は全て自然な手の位置に取り、手は次のコールに備えて適当な位置に保つ。

講習時のヒント:

本動作のエンズ部分はWheel And Deal(ウィール アンド ディール)のように感じ、センターズの部分は“Centers Run(センターズ ラン)後同じダンサーがFold(フォールド)”のように感ずる。Recycle(リサイクル)は“Centers U-Turn Back(センターズ Uターンバック)したのち、皆でWheel And Deal(ウィール アンド ディール)”と講習してはならない。

Right and Left Grand Family (ライト アンド レフト グランド ファミリー)

a. Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)

動作を始める隊形:

Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)、またはダンサーが差し障りなく90度以内で方向を変え、男性はプラマネイド方向(反時計回り)を向くことが出来、女性はロング ウエイ プラマネイド方向(時計回り)を向くことが出来る隊形。

動作:

必要があれば、男性は90度方向を変え、プラマネイド方向を向き、女性は90度方向を変え、ロング ウエイ プラマネイド方向を向く。融合して円状隊形になり、ダンサーは右手を引っ張って通り過ぎ、左手を引っ張って通り過ぎ、右手を引っ張って通り過ぎ、左手を引っ張って通り過ぎる。

動作を終わる隊形: Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

タイミング: 10拍。

スタイリング:

手は交互に使い、トワールはしない。腕は自然なダンス位置に取り、手はダンサーが互いに通り過ぎるときに放す。男性はとくに背筋を伸ばす。前かがみになって手を伸ばし、早く次の人の手を取ろうとしないよう注意する。気楽に腕や手を前に出す気持ちが必要である。

b. Weave the Ring (ウィーブザリング)

動作を始める隊形: Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

動作:

ダンサーは手を使わないRight and Left Grand(ライト アンド レフト グランド)を行う。

動作を終わる隊形: Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

タイミング: 10拍。

スタイリング:

女性は両手でスカートを持ち、サークル上を進みながらスカートを振る。男性は腕を自然なダンス位置に取る。ダンサーは互いに右肩で通り過ぎる時には右肩を、左肩ですれちがう時には左肩を前に出すように進む。向かい合う時には互いに視線を軽く合わせる。サークルのサイズは適度に保つよう(大きすぎないように)注意を払う。

講習のヒント:

お互いに内側、外側と縫うように手を使わない Right and Left Grand (ライトアンドレフトグランド)を行う。

c. Wrong Way Grand (ロング ウェイ グランド)

動作を始める隊形:

Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)と同じであるが、男性は Wrong Way Promenade (ロング ウェイ プラマネイド) 方向、女性は Promenade (プラマネイド) 方向を向く。

動作:

Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)と同じであるが、男性は Wrong Way Promenade (ロング ウェイ プラマネイド) 方向、女性は Promenade (プラマネイド) 方向へ進む。

動作を終わる隊形: Right And Left Grand Circle (ライト アンド レフト グランドの円)。

タイミング: 10拍

スタイリング: Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)と同じ。

講習のヒント:

隊形を作り、この方向に Right and Left Grand (ライト アンド レフト グランド)を行うよう講習する。

Right and Left Thru (ライト アンド レフト スルー)

動作を始める隊形:

向かい合ったカプル。ベーシックとメインストリームでは男性が女性を回転する場合のみに限定されている。

動作:

前進し、前にいるダンサーの右手を引っ張って通り過ぎ、Courtesy Turn (カーテシー ターン)。オーシャンウェイブの規則が適用される。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル

タイミング: スクエアセットから8拍、ボックスまたはオーシャンウェイブから6拍。

スタイリング:

ダンサーは互いに右手を伸ばして取り、Pass Thru (パス スルー) 動作を行い、互いに通り過ぎて手を離す。文字的に“引っ張って”と書いたが、引っ張る必要はなく、引っ張ろうとしてもいけない。Courtesy Turn (カーテシー ターン)のスタイリングに関してはCourtesy Turn (カーテシー ターン)の項を参照。

Run (ラン) / Cross Run (クロス ラン)

a.(Named Dancers) Run 《(指示されたダンサー) ラン》

動作を始める隊形:

2人で作られるあらゆる隊形で、指示されて動作を行う人が他のダンサーと直接互いに肩を接している状態。

動作:

指示された人(アクティブ)は半円を描くように(180度前方へ回り、隣にいて何も指示されなかった人(インアクティブ)の位置に立つ。一方何も指示されなかった人(インアクティブ Inactive)はどの方向に向いているにしろ、向きを変えずに、動作を指示された人(アクティブ Active)の位置に移動する。Run (ラン)を指示された人(アクティブ)は最初と逆の方向を向いて終わり、隣にいた何も指示されなかった人(インアクティブ)は方向を変えない。Run (ラン)をする方向(右または左)が指定されず、指示された人(アクティブ)がそのどちらかの側に何も指示されなかった人(インアクティブ)がいる場合、中央にいる人は端の人を回り外に出て、端にいる人は中央の人の周りを回り中央に位置する。Alamo Circle (アラモ サークル)から Run (ラン)を行うにあたり方向が指定されない時は、右方向への Run (ラン)である。

動作を終わる隊形: 各種。動作を始める隊形による。二人のダンサーはその位置を交換する。

タイミング: 4拍。

スタイリング: 手は動作を終わる隊形に必要とする手の取り方へ移行する。

コールをする時のヒント:

オーシャンウェイブ、トゥーフェイスライン、またはラインから Boys Run (ボーイズ ラン)、Girls Run (ガールズ ラン)、Ends Run (エンズ ラン)、Centers Run (センターズ ラン)をコールするのが普通である。

b. (Named Dancers) Cross Run 《(指示されたダンサー) クロス ラン》

動作を始める隊形: ライン、トゥー フェイスライン、ウェイブ。

動作:

指示された(アクティブ)2人は、中央にいるか端に位置するかのいずれかであるが、自分から遠い方の何も指示されなかった人(インアクティブ)の位置に立つ。何も指示されなかった人(インアクティブ)が中央にいる場合はそのまま横に動いて端に出て、端にいる場合はそのまま横に移動して中央に位置する。指示された人(アクティブ)が同じ方向、を向いている場合は、半円を描くように前方へ進み、互いに通過して、一番遠い空いた位置に立つ。

タイミング: 6拍。

Scoot Back(スクートバック)

動作を始める隊形: ボックス サーキュレイションまたはクォーター タッグ。

動作:

ボックスサーキュレイション隊形からは、内を向いている人が直進し、それぞれ内側の手をフォアアームにとり、1/2(180度)回転した後、外を向いていた人がいた位置へ前進して動作を終わる。この間外を向いていた人は直進して、フォアアームターンをする人がいた位置へそれぞれ Run(ラン)をする。右手のボックスからこの動作を行った場合、TRAILER(トレーラー 内を向いている人)は右手の回転、LEADER(リーダー 外を向いている人)は右への Run (ラ

ン)をする。左手のボックスからこの動作を行った場合、TRAILER(トレイラー 内を向いている人)は左手の回転、LEADER(リーダー 外を向いている人)は左へのRun(ラン)をする。クォータータッグ隊形からは、各ダンサーは後ろにいる人の動作を行う。前進し手をフォアアームにとり、1/2(180度)回転して再び前進する。

動作を終わる隊形:

ボックス サーキュレイトからはボックス サーキュレイト隊形で終わり、クォータータッグからは3/4タッグ隊形となる。

タイミング: 6拍。

スタイリング: Turn Thru(ターン スルー)、Fold(フォールド)に同じ。

See Saw (シー ソウ)

動作を始める隊形: Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

動作:

向かい合ったダンサーが歩を進め、左肩と左肩が常に隣の合うように回って前進、当初の位置に戻り、互いに反対方向を向く。

動作を終わる隊形: Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

タイミング: 8拍。

スタイリング: Walk Around The Corner(ウォーク アラウンド ザ コーナー)に同じ。

講習時のヒント:

ダンサーは互いに左肩をマジックテープでくっつけているように動作をする。

Separate (セパレイト)

動作を始める隊形: カプル。

動作:

指示されたダンサー又はアクティブなダンサーは背中合わせになり、互いに離れるように、別の人に会うまで、セットの外側を反対方向へ前進する。更に指示がなければ、別の人に会ったとき動作は終わる。動く距離と動作を終わる隊形は次のコールにより決まる。

動作を終わる隊形: ダンサーが向かい合った隊形、または次のコールによって決まる。

タイミング: 2拍、または外側を移動する距離により決まる。

スタイリング:

インアクティブダンサーは前進し、アクティブの人のために後ろに道をあける。男性は自然なダンス位置に手を置く。女性のスカートワークは女性の自由意志である。

講習時のヒント:

単独なコールである Separate(セパレイト)が実際ここで終わるのかダンサーに認識させるため練習する。ブロックを積み上げるように次に来るコールを付け足す。インアクティブダンサーはアクティブの人がどこにいるのか注意を払い、自分の周りにいる時など、その足を踏まないようにしなければならない。

a. Around 1 or 2 to a Line (アラウンド ワン オア トゥー トゥー ア ライン)

動作を始める隊形: Separate(セパレイト)を終わった隊形。

動作:

Separate(セパレイト)を終わった後、アクティブダンサーはセットの外側を歩き、指示された数だけインアクティブダンサーを通り過ぎる。インアクティブダンサーは動かない(ゴールポストとしての)対象物の役目をし、その向きは変えない。しかしながら、必要に応じて一步前へ出てアクティブダンサーが外側を歩きやすくし、通り過ぎてから少し下がったりするダンスに応じた動きは行う。

アクティブダンサーが最後のインアクティブダンサーを回るとき、インアクティブダンサーの間に入り(インアクティブダンサーは間に空間を作る)総合ラインを作るのか、インアクティブダンサーの外側に立って総合ラインの端となるのかどちらかである。

動作を終わる隊形: 総合ライン。

タイミング:

Around 1 To A Line: 4拍、Around 2 To A Line: 6拍

b. Around 1 or 2 and come into the middle (アラウンド ワン オア トゥー アンド カム イントゥ ザ ミドル)

動作を始める隊形: Separate(セパレイト)を終わった隊形。

動作:

まずは上記 **a.**と同じように動作を始める。

アクティブダンサーが最後のインアクティブダンサーを回ってその間に入り込み、通り過ぎて(インアクティブダンサーは離れて間に空間を作り、また元に戻る)セットの中心に入るか、または半円形に最後のインアクティブダンサーを回って、セットの中心に入る。

アクティブダンサーがセットの中に入ると、次のコールを行うことができる。

動作を終わる隊形:

- Separate Around 1 and Come Into The Middle: Double Pass Thru, Trade By, その他も可。
- Separate Around 2 and Come Down The Middle: 一組のペアカップルがアクティブのスクエアセット、その他も可。

タイミング:

Separate Around 1 and come into the middle with: 6拍;

Separate Around 2 and come into the middle with: 8拍。

コール時のヒント:

“Come Into The Middle”はしばしば“Come Into The Middle With A ___”という言葉でコールされるが、指示を受けるダンサーにとっては次のコールが迅速にまた容易に認識できる。

Shoot the Star(シュート ザ スター) / Shoot the Star Full Around(シュート ザ スター フルアラウンド)

動作を始める隊形: 動いているザーまたは動いているロング ウェイ ザー。

動作: 中央で組んでいた手を離して、外側にいる人と Arm Turn(アームターン)ハーフして前進する。 Full Around(フルアラウンド)が指示された場合は Arm Turn(アームターン)全周(360度)する。

動作を終わる隊形: Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

タイミング: 4拍、フルアラウンド 6拍。

スタイリング:

Shoot the Star(シュート ザ スター)のときは腕は前腕を取る。 外側の手は自由。

Slide Thru (スライド スルー)

動作を始める隊形: 向かい合ったダンサー。

動作:

Pass Thru(パス スルー)し、男性が1/4(90度)右を向き、女性が1/4(90度)左を向く。

動作を終わる隊形:

男性と女性が Slide Thru(スライド スルー)をする場合はカップル。 同性同士で動作する場合はミニウェイブ。

タイミング: スクエアセットから6拍、ボックスで4拍。

スタイリング:

腕は自然な手の位置に取り、女性のスカートワークは自由。 手は次のコールに備えてカップルの手のとり方にとる。

コール時及び講習時のヒント:

ダンサーが互いに近づくと同時に回転動作を始める。 女性はやや背中方向へ回転し、男性はやや前側の方に回転し、通り過ぎる。 動作を始めるにあたり、だれと向かい合っているようだが、それぞれの回転動作は Star Thru(スター スルー)と全く同じである。

Slip the Clutch(スリップ ザ クラッチ)

動作を始める隊形: ザーまたはロングウェイ ザー。

動作:

ザーの中央にいた人はスターを保持したまま止まり、外の人と取っていた手を離す。 次に全員がザーの時に回っていたサークル上を前進する。

動作を終わる隊形: 次のコールによる。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

動作方向が逆となるが、外側の人と取っていた手を自然に離し、この手をすぐに次のコールに合わせて、前から来る人の手を取るように用意すれば、動作の切り替えが楽に行える。

Spin Chain Thru (スピン チェイン スルー)

動作を始める隊形: 平行したウェイブ。

動作:

それぞれの外端とその隣の人が1/2回転(180度)回る。各オーシャンウェイブの中心に入った新しいセンターが3/4回転(270度)回り、他の組とセットを横切った新しいオーシャンウェイブを作る。このウェイブの中心二人は1/2回転(180度)回り、再びセットを横切ったオーシャンウェイブを作る。この中心にあるオーシャンウェイブの外側にいる2組が3/4回転(270度)回り、外で待っている人と平行したウェイブを作る。向かい合ったカプルの規則が適用される。

動作を終わる隊形: 平行したウェイブ。

タイミング: 16拍。

スタイリング:

オーシャンウェイブのスタイリング。新しく外で待つ人は手をつないでオーシャンウェイブになるとき、手は次のコールに備えて適当な位置に保持する。

コール時のヒント:

センターが動作を行っているとき、エンズに Circulate Twice (サーキュレイト トワイス) させるのが流れの良い組み合わせである。

講習時のヒント:

Spin the Top (スピン ザ トップ) にあるようなスピン概念(すなわち、外端とその隣の人が1/2回転(180度)回り、新しいセンターが3/4回転(270度)回転またはCast Off)を動作して講習する。

Spin the Top (スピン ザ トップ)

動作を始める隊形: Ocean Wave (オーシャン ウェイブ)

動作:

外側にいる人とその隣の人がそれぞれ1/2回転する。新しいセンターが3/4回り、その間に外側になった人がそれぞれ円周上を1/4進んで、動作を始めた同じ人と会って、オーシャンウェイブの外側となり、動作を終わる。向かい合ったカプルの規則が適用される。

動作を終わる隊形: 始めた位置から直角に移動したオーシャン ウェイブ。

タイミング: 8拍。

スタイリング:

動作を行っている間および動作を完了した時は、オーシャンウェイブの手の取り方で、肘は広げない。オポジットのダンサーの動きを補助するためごくわずかな圧力を加え、腕はスムーズに無理しないで回転し、線上を縫うように進む。

講習時のヒント:

Cast Off 3/4(キャスト オフ 3/4)の時と同じように、キャスト動作をするセンターは、使っていない手を動作の完了まで下げておく。この使わない手をあまりにも早く上げると、3/4回転を終わらないうちに動作を早く終了してしまうことになりかねない。ダンサーには、動作を始めた同じ人と同じ手で動作が終わることを気付かせる。

Split Two (スプリット トゥー)

動作を始める隊形:

Eight Chain Thru(エイト チェイン スルー)、一般的にカプルまたは前後1列に並んだ一組が、カプルまたはミニウェイブに向かいあった隊形。

動作:

アクティブまたは指示されたカプルが外側にいるカプルの間を割って(Split)、通り抜ける。外側のカプルは横に離れて間に入って来るカプルを通してやり、再び元の位置に戻る。

動作を終わる隊形:

アクティブダンサーは割って通り抜けたダンサーと背中合わせとなる。インアクティブダンサーは動作を始めた位置で終わる。

タイミング: 2拍。

コール時のヒント:

指示されたダンサーが容易に、タイミングよく、流れに乗って動けるように、次のコールは直ちにコールすべきである。

Square Thru (スクエア スルー) (1,2,3,4) / Left Square Thru (レフト スクエア スルー) (1,2,3,4)

動作を始める隊形: 向かい合っているカプル。

動作を終わる隊形: 背中合わせのカプル。

タイミング:

スクエアセットから4人がフル: 10拍、3/4: 8拍、1/2: 6拍、1/4: 4拍。

ボックスから4人がフル: 8拍、3/4: 6拍、1/2: 4拍、1/4: 2拍。

スタイリング:

Right and Left Grand(ライト アンド レフト グランド)に同じ。各曲がり角は、軍隊式に角張るよりはむしろ円く回って、プルバイするべきである。

講習時のヒント:

ダンサーは互いに通り返し、手を離す。この動作を始めて講習する時は、同性での組み合わせで行うことを考えてください。二つ目の手でRight And Left Thru(ライト アンド レフト スルー)にあるようにCourtesy Turn(カーテンターン)をすることが完全になくなります。

a. Square Thru (スクエア スルー) (1,2,3,4)

動作: 向かい合っている人が右手をとって通り返し、1/4(90度)4人の中心を向き左手で通り返し(ハーフスクエアスルーが完了)。そして1/4(90度)4人の中心を向き右手で通り返し(スクエアスルー3/4が完了)。

更に1/4(90度)4人の中心を向き左手で通り返しが向きは変えない(スクエアスルーが完了)。Square Thru (スクエアスルー)は分割してまたは手の数で示され、Square Thru Three Quarters (スクエアスルースリークォーターズ=3/4)はSquare Thru Three Hands (スクエアスルースリーハンズ)と同じ。

b. Left Square Thru (レフト スクエア スルー) (1,2,3,4)

動作: 左手から始めて交互に手を取って行くことを除いては、Square Thru (スクエアスルー)と同じ。この動作を行う必要がある時は必ずLeft Square Thru (レフトスクエアスルー)と指示されなければならない。

Star Thru (スター スルー)

動作を始める隊形: (男性が女性に)向かい合ったダンサー。

動作:

男性は右手を女性の左手に、指を上にして手のひらと手のひらを合わせ、アーチを作る。2人とも前進しながら女性はこのアーチをくぐって1/4(90度)左へ向き、男性は女性の後ろを回って1/4(90度)右を向く。

動作を終わる隊形: カプル。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

手は大体目の高さに上げ、指を上にして手のひらと手のひらを合わせ、アーチを作る。このアーチは男性の右手と女性の左手で作られる。男性の右手はしっかりと安定させ、女性が自分で回れるよう支える。動作が終わると手の握りを調節して、カプルハンドにつなぎ変える。

講習時のヒント:

相手の適切な手を取るのは男性の責任である。

Sweep a Quarter(スウィープ ア クォーター)

動作を始める隊形: (右または左に)円形に移動する向かい合っているカプル。

動作: 円形に移動する動作をボディフロー方向へ1/4(90度)引き続き行う。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル。

タイミング: 二組のカプルの場合は2拍、四組の全てのカプルの場合は4拍。

スタイリング:

全ての手はカプルの手のとり方。前の動作の手をスムーズにほどいてカプルハンドに切り替え、スウィープ動作に入る。

Swing (スイング)

動作を始める隊形: 向かい合ったダンサー(男性と女性)

動作:

少し左寄りに前進し、社交ダンスのように組んで、音楽の4拍またはそれ以上時計回りに回転する。この動作を終わるに当たり、女性は右に回り続け、男性の右腕に沿って展開し、男性と同じ方向を向く。オーシャンウェイブの規則が適用される。

動作を終わる隊形:

普通のカプル。通常はセットの中心を向く。または、次の動作(例えば Promenade—プラマネイド)を行うのに適切な方向を向く。

タイミング: 状況により異なり、少なくとも4拍。

スタイリング:

男性: 左腕はひじで少し曲げ、手のひらは少し上向き、右手は平らに女性の腰より少し上に置く。姿勢はまっすぐに。
女性: 右手のひらを下にし男性の左手に置き、左手は男性の右肩、腕は男性の右腕にゆだねる。

ウォーキングスイングの足の動きは二人の真ん中を中心として歩幅を小さく、時計回りに回る。少し体力がいるが、バズステップスイングと呼ばれるものもある。二人の中心点を軸に右足は小さなステップを踏み時計回りに前進するが、左足はスクーターを押すように動かす。右足が常に左足の前になる。

次の動作が Promenade(プラマネイド)である場合、Swing(スイング)の後トワールをして終わりたい人がいるが、Swing(スイング)またはトワールを好まない人もおり、男性は礼儀正しく思いやる必要がある。

講習時のヒント:

普通ダンサーに組み方を達成させるためには、あたかも社交ダンスのワルツを始めるようにクローズドポジションで立ち、これを少しずらして組むように言う。ダンサーは二人一組で動くよう説明してください。Swing(スイング)動作の中心は二人のダンサーの中心に平衡しておかれなければならない。どちらかのダンサーが相手側に傾いたり、相手を引っ張ったりすれば、バランスが取れない。それぞれのダンサーが互いに等しい力で外側よりかかめるようにすれば、完全なバランスが取れる。

Swing Thru (スウィング スルー) / Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)

動作を始める隊形: Ocean Wave (オーシャンウェイブ)または Alamo (アラモ)。

動作を終わる隊形: 動作を始める隊形と同じ。

スタイリング:

全ての手はハンズアップで肘を互いに近づける。また相手方向に少し押すようにし、互いに回転を安定させる。

半回転をする時はプルバイよりはむしろ弧を描くように自然に動き、互いに線を縫うような感覚で次の動作に移行する。

タイミング: 手を取ってから6拍。

a. Swing Thru (スウィング スルー)

動作:

出来る人が右手で半回転(180度)し、次に出来る人が左手で半回転(180度)する。Swing Thru (スウィング スルー)のコールの前に"right(右)"という指示が無くても、右手からのSwing Thru (スウィング スルー)を行う。向かい合ったカプルの規則が適用される。

b. Alamo Swing Thru (アラモ スウィング スルー)

動作:

皆で右手で半回転し、次に皆で左手で半回転する。このAlamo(アラモ)隊形からLeft Swing Thru (レフト スウィング スルー)がコールされた場合は、皆左手で半回転し、次に皆で右手半回転する。

c. Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)

動作:

出来る人が左手で半回転(180度)し、次に出来る人が右手で半回転(180度)する。もしLeft Swing Thru (レフト スウィング スルー)が必要なときは、"Left Swing Thru (レフト スウィング スルー)"と特定しなければならない。向かい合ったカプルの規則が適用される。

Tag the Line (タッグ ザ ライン) (In/Out/Left/Right - イン/アウト/レフト/ライト)

動作を始める隊形: 偶数人数で構成されるライン。

動作:

各人がそれぞれラインの中央を向き、ラインの向こう側半分から来る人達と右肩で全部通の過ぎる迄前進する。続いてIn(イン)、Out(アウト)、Right(ライト)、Left(レフト)といずれかの方向を指示される場合があるが、この時ここはその場で1/4(90度)回転し、指示された方向を向いて終わる。

動作を終わる隊形: 4人のラインから始めた場合は、ダブル パス スルーを終わった隊形。

タイミング: 6拍。

スタイリング:

腕は自然な手の位置におく。手は次のコールに備え適当な位置に保つ。少し前進してラインの中央を向くようにすれば、流れるような動作が可能となり、軍隊式の堅い動きを避けることができる。

Thar Family(ザー ファミリー)

a. Allemande Thar (アレマンド ザー)

動作を始める隊形: Right And Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランドの円)。

動作: アレマンド ザー スターは隊形の一つで、いかなる左手回転の後、中央に入った人(または指示された人)が右手でボックススターをつくり、後ろへ後退することにより作られる。外側に出た人は中に入った人の左手をフォアアームで保持し、前に進む。

動作を終わる隊形: アレマンド ザー スター。

タイミング: Arm Turn(アームターン)の距離による。

スタイリング:

男性が中央で後退する場合、右手はボックススター/バックサドルに組み、前の人の手首を軽く握る。女性が中央になる場合は単に手を中心を集め、互いに触るくらいにする。外を前進する人は長い距離を歩くので、中央に位置する人は外側の人の歩調に注意する必要がある。中の人が早く後退すると、歩調を合わせるため外では走らなければならない。いかなるスターであっても、女性が外側にいるときは外の手はスカートを持ちましょう。腕を上下してポンプを押すときのように、男性は前の人の腕をぎゅっと握ってはいけません。

コール時のヒント:

Walk Around The Corner、Do Pa So、Men Wheel Into An Allemande Thar が一般的な使い方である。

Shoot The Star (シュート ザ スター)後は“To Another Thar (トゥ アナザー ザー)”ということは可能である。これは上に述べた To An Allemande Thar (トゥ アン アラmend ザー)動作と同じである。皆が右手を引っ張って通り過ぎ、次に左手で半回転し Allemande Thar (アラmend ザー)を作る。コーラーは大体において”Go Forward 2 (ゴー フォワード トゥ)”と指示する。

また、コーラーは Forward (フォワード)(皆が Right And Left Grand (ライト アンド レフト グランド)方向へ進む)または Backward (バックワード)(皆が普通の Right And Left Grand (ライト アンド レフト グランド)方向とは逆方向へ進む)方向へ進む数をいくつでも指示できる。例えば、”Shoot The Star Full Turn (シュート ザ スター フル ターン) Go Backward 3, Right, Left, Right (ゴー バックワード スリー、ライト、レフト、ライト) Men Swing In Make A Wrong Way Thar (メン スイング イン メイク ア ロング ウエイ ザー)”である。

b. Allemande Left To An Allemande Thar (アレマンド レフト トゥ アン アレマンド ザー)

動作を始める隊形: Allemande Left (アレマンド レフト)が適切にできる全ての隊形

動作:

Allemande Left (アレマンド レフト)を行い、Right And Left Grand (ライト アンド レフト グランド)ができるサークルに入る。皆が右手を引っ張って通り過ぎ、次に左手で半回転し Allemande Thar (アレマンド ザー)を作る(男性が中心に入る)。

コール時のヒント:

“Allemande Thar (アレマンド ザー)”や”Make a Thar (メイク ア ザー)”との混乱を避けるため、コーラーは大体において”Allemande Left To An Allemande Thar (アレマンド レフト トゥ アン アレマンド ザー) Go Forward 2 (ゴー フォワード トゥ) Men Swing In With A Backup Star (メン スイング イン ウイズ ア バックアップ スター)”とか”Allemande Left Go Allemande Thar (アレマンド レフト ゴー アレマンド ザー) With A Right And Left And The 4 Men Star (ウイズ ア ライト アンド レフト アンド ザ フォーメン スター)”のように言う。

タイミング: スクエアセットから Allemande Left (アレマンド レフト)をして、後ろ向きのスター迄 12拍。

c. Wrong Way Thar (ロング ウェイ ザー)

動作:

Wrong Way Thar (ロング ウェイ ザー)は、いかなる右手回転の後、中央に入った人(または指示された人)が左手でボックススターをつくり、後ろへ後退することにより作られる。外側に出た人は中に入った人の右手をフォアアームで保持し、前に進む。

タイミング: Arm Turn (アームターン)の距離による。

スタイリング: Allemande Thar (アレマンド ザー)と同じ。

Touch 1/4 (タッチ ワン クォーター)

動作を始める隊形: 向かい合っている人。

動作: 向かい合っているダンサーは前進し、右掌を接し、直ちに右へ1/4(90度)回転する。

動作を終わる隊形: ミニウェイブ。

タイミング: 2。

スタイリング: 普通のハンズアップで手のひらと手のひらを合わせ、大体肩の高さに保持する。

講習時のヒント:

ダンサーに対し必ず右手を使えるよう明確にし、身体の流れとしては左方向か真直ぐである。

Trade Family (トレイド ファミリー)

動作を始める隊形: 全てのウェイブ、ライン、カラム。

動作(総合ルール):

指示された二人は半円を描くように前進して互いに位置を交換する。相手の人がいた位置でこの動作を終わるが、元の位置で自分が向いていた方向とは逆方向を向いて終わる。この動作を行う二人が同じ方向を向いていて途中擦れ違う場合は、通り過ぎる時の規則に従い右肩で擦れ違う。

(a) Boys Trade (ボーイズトレイド)、Girls Trade (ガールズトレイド)、Ends Trade (エンズトレイド)、Centers Trade (センターズトレイド)等: 指示された二人(Boys-男性、Girls-女性、Ends-両端、Centers-中央)は総合ルールを使って互いに位置を交換し、元の位置で自分が向いていた方向とは逆方向を向いて終わる。

(b) Couples Trade (カップルズトレイド): 動作を始める隊形はライン、又はトウ フェイストライン。カップルで一組となり動く。各組が同じライン上にいる他の組と位置を互いに交換する。カップルは個人で動作する時と同じように、カップルで一組となり通り過ぎる時の規則に従う。

(a) Partner Trade (パートナートレイド): 動作を始める隊形はカップル、ミニウェイブ。二人が互いに位置を交換する。

動作を終わる隊形: いろいろで、動作を始める隊形による。

タイミング:

Partner Trade (パートナートレード)は4拍。オーシャン ウェーブから Centers (センターズ)は4。Ends (エンズ)は4拍。トゥー フェイスト ラインから Couples Trade (カプルストレード)の場合6拍。

スタイリング:

隣合っていて互いに反対方向を向いている二人がこの動作を行う場合、ハンズアップで手を取り、Swing Thru (スイングスルー)等と同じように回転する。女性が(特に両端から)Trade(トレード)する時はスカートワークを行う。Couples Trade (カプルストレード)を行う時は Wheel and Deal (ウィール アンド ディール)と同じようにカプルハンドで手を取る。Partner Trade (パートナートレード)を行う時は、互いに動作を行い易くするため内側の手に少し力を入れる。

Trade By(トレードバイ)

動作を始める隊形:

二組のカプルが互いに向かい合い、他のカプルが外を向いているあらゆる隊形。

動作:

外を向いているカプルが Partner Trade (パートナートレード)し、向かい合っているカプルが Pass Thru (パススルー)。

動作を終わる隊形: いろいろで、動作を始める隊形による。

タイミング: 4拍。

スタイリング: Pass Thru (パススルー)と Partner Trade (パートナートレード)に同じ。

コール時のヒント:

Trade By(トレードバイ)を使う最も共通な使い方はトレードバイ隊形からで、エイト チェイン スルー隊形で終わる。

講習時のヒント:

常にダンサーの手を取ることを明確にし、パートナーがどこにいるかわからせる。Trade By(トレードバイ)を行うためには、各ダンサーは Circulate(サーキュレイト)で(Column Circulate-カラムサーキュレイトのように)位置を一つ前進する。

Turn Back Family (ターン バック ファミリー)

この項の下記両者ともダンサーは方向を変え、反対方向を向いて終わる。

a. U-Turn Back (ユー ターン バック)

動作を始める隊形: ダンサーそれぞれ。

動作:

ダンサーは個々にその場で180度回転する。ボディフローが逆にならない限り、互いにパートナーに向き合う方向に回る。1人の時(すなわち、パートナーがいない時)はセットの中心方向に向かって回るが、既にセットの中心方向または中心に背を向けて立っている場合はどちらの方向に向かって回転してもよい。

動作を終わる隊形: ダンサーそれぞれ。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

一人で立つ人は腕は自然なダンス位置におく。隣の人と手をとっている場合は、手を離して動作を行い、再び適切な手をとる(カプルまたはミニ ウェイブ)。

b.Backtrack (バックトラック)

動作を始める隊形:

プラマネイド、スタープラマネイド、シングルファイルプラマネイド、ロングウェイプラマネイド。

動作:

指示された人がセットの外側方向に、小さな180度の弧を描いて動く。

動作を終わる隊形: 動作を始めた隊形と誰が指示されたかにより種々。

4人が指示された場合: Backtrack(バックトラック)をしない中の4人はセットの中心でスターまたはシングルファイルプラマネイドを保持し、Backtrack(バックトラック)をした4人はシングルファイルでセットの外側を反対方向にプラマネイドする。

全員が指示された場合: シングルファイルプラマネイド。

タイミング: 2拍。

スタイリング:

必要があれば組んでいる手を離す。腕は自然なダンス位置に保ち動作を続ける。

Turn Thru (ターンスルー)

動作を始める隊形: 向かい合った人。

動作:

滑らかなひとつの動きとして、前進してウェイブを作り(手は前腕をとる)、右手で半分周り、通り過ぎる。オーシャンウェイブの規則が適用される。

動作を終わる隊形: 背中合わせ。

タイミング: 手を取ってから4歩。

スタイリング:

Allemande Left (アレマンド レフト)に同じ。普通に前腕を取り、男性の自由な手は自然なダンス位置に取り、女性の自由な手はスカートを振ることが望ましい。

Veer Left (ビア レフト) / Veer Right (ビア ライト)

動作を始める隊形: 向かい合っているカプル、トゥー フェイスト ライン。

動作:

向かい合っているカプルから、それぞれのカプルが一組となり、左に(または右に指示された通り)移動し、前進する。トゥー フェイスト ラインからはカプルは一組となって動き、ななめに前進して内側へ移動する。

動作を終わる隊形:

向かい合っているカプルからはトゥー フェイスト ライン。トゥー フェイスト ラインからはカプルが背中合わせとなる。

タイミング: 2拍。

スタイリング: 全てカプルの手のとり方。外側の手は自然な手の位置におく。

コール時のヒント: トゥー フェイスト ラインからは移動方向はこのラインの中央でなければならない。

Walk Around The Corner(ウォーク アラウンド ザ コーナー)

動作を始める隊形: スクエアセット、内向きの8人サークル。

動作:

コーナーに向かい合って前進、右肩と右肩が常に隣り合うように回って本来のパートナーに戻り、コーナーに背を向けて終わる。

動作を終わる隊形: Right and Left Grand Circle(ライト アンド レフト グランド サークル)

タイミング: 8拍。

スタイリング:

男性の腕は自然なダンス位置に取る。女性はスカートを両手で持ち、向かい合う人を避けるように前後に動かす。ダンサーはパートナーに会うまで、肩越しに相手の目を見ながら動作を続けるべきである。

講習時のヒント:

ダンサーは右肩がマジックテープでくっついているかのように動作する、

Walk And Dodge(ウォーク アンド ドッジ)

動作を始める隊形: ボックスサーキュレイションまたは向かい合っているカプル。

動作:

ボックスサーキュレイトの隊形から行う場合は、ボックスの内側を向いている人がそれぞれ前進し、すぐ前にいた人の位置に進む。ボックスの外側を向いている人はそれぞれ自分の横にいた人で前進した人(ウォーカー)の位置へ横にステップして進む(ドッジ)。横並びとなって二人とも外を向いた隊形で終わる。向かい合っているカプルからこの動作を行う場合は、誰がウォークし、誰がドッジするかコーラーにより指示(例えば men walk, ladies dodge (メン ウォーク レディース ドッジ))されなければならない。

動作を終わる隊形: ボックスサーキュレイトから始めた場合は、カプルが背中合わせとなる。向かい合ったカプルから始めた場合、ボックスサーキュレイトの隊形で終る。

タイミング: 4拍

スタイリング:

腕はウエイブの手の取り方からカプルの手の取り方へ取り替えて、自然な手の位置に取るか、又はその逆に。手は次のコールに備え、適切な位置に保持する。

コール時のヒント: Walk And Dodge(ウォーク アンド ドッジ)後のコールによっては流れがよくなかったり、不快に感ずる動作があるので、注意を要する。(例えば、“Walk And Dodge(ウォーク アンド ドッジ)、Bend The Line (ベンドザ ライン)”, 又は“Walk And Dodge(ウォーク アンド ドッジ)、Wheel And Deal(ウィール アンド ディール)”はダンサー一人のボディフローが良くない。)

Wheel And Deal (ウィール アンド ディール)

a. Wheel And Deal (from lines of four) (ウィール アンド ディール(4人のラインから))

動作を始める隊形: 同じ方向を向いた4人一列のライン。

動作:

左側に立つカプルが小さく一歩前進する。そしてラインの中央にいた人を中心に、ラインの中央方向へカプルで180度回転する。ラインの右半分にいるカプルも同様に回転するが、元左側にいたカプルの前に位置する。

動作を終わる隊形:

前後の関係に位置するカプル。両カプルは同じ方向を向いて終わるが、当初右側にいたカプルが元左側にいたカプルの前に位置する。

タイミング: 4拍

スタイリング:

手はカプルハンドに取り、中心となる中央に位置する人は全ての Wheel Around (ウィール アラウンド)動作と同じように、手に少し力を入れて動作をし易くする。前腕は互いに並べて平行に取り、回転動作をしやすくする。

講習時のヒント:

常に反対側にいるカプルへ向かって動き、反対側のカプルから離れるように動いてはいけない。

b. Wheel And Deal (from two-faced lines) (ウィール アンド ディール(トゥー フェイスト ラインから))

動作を始める隊形: トゥー フェイスト ライン。

動作:

各カプルは小さく一歩前進し、ラインの中央にいた人を中心に、ラインの中央方向へ180度回転する。

動作を終わる隊形: 向かい合ったカプル。

タイミング: 4拍。

スタイリング: 手はカプルハンドに取る。

講習時のヒント:

常に反対側にいるカプルへ向かって動き、反対側のカプルから離れるように動いてはいけない。

Wheel Around (ウィール アラウンド)

動作を始める隊形: カプル。

動作:

カプルを一組として動き、左方向へ180度回る。左側の人が下がり、右側の人が前進する。回転の中心は互いに繋いだ手の位置になる。

動作を終わる隊形: カプル。

タイミング: 4拍。

スタイリング: ダンサーはカプルの手の取り方、又は直前のコールの手の取り方を維持する(例えば、Promenade (プロマネイド))。手の取り方は、Wheel Around (ウィール アラウンド)を終わるときに、必要であれば、次のコールに合わせて変更する。

コール時のヒント:

Wheel Around (ウィール アラウンド)は、直前のコールが適切なボディフローを伴っていれば、ダンサーにとって、より容易にまたより上手に動作できる。

講習時のヒント:

Wheel Around (ウィール アラウンド)は、Courtesy Turn (カーテシーターン)の手の取り方を使わない、Courtesy Turn (カーテシーターン)に同様である。

Zoom (ズーム)

本定義書において”Center Point(中心点)”という言葉は、自分が立つ側の4人のダンサー隊形の中心、または、自分が4人のダンサー隊形にいない場合は、スクエアセットの中心を意味している。

動作を始める隊形:

前後の関係があり、離れることが出来る中心点がある隊形。

動作:

LEADER(リーダー)が中心点から離れて、完全な円を描くように回り TRAILER(トレーラー)の位置迄来る。TRAILER

(トレーラー)は真っすぐ前進し、空いている LEADER(リーダー)の位置に入る。

動作を終わる隊形: 動作を始める隊形と同じ。

タイミング: 4拍。

スタイリング:

LEADER(リーダー)は腕を自然なダンス位置に取る。女性はスカートを振ってもよい。TRAILER(トレーラー)がカプルの場合はカプルの手のとり方を維持する。

コール時のヒント:

通常動作を始める隊形は前後の関係があるカプル、またはボックス サーキュレイトが最も多い。

講習時のヒント:

この動作で重要なことは、LEADER(リーダー)は、まず外側に円を描くように前進することから始め、後ろに空間を作り、TRAILER(トレーラー)が前進し易くすることである。